

令和元年東日本台風 足利市の記録

〔令和元年台風第 19 号 災害記録誌〕



足利市

表紙裏 ページ送り

はじめに

令和元年（2019年）10月12日 土曜日 19時00分前、伊豆半島に上陸した台風第19号は、関東甲信越・東北地方に甚大な被害をもたらし、気象庁により「令和元年東日本台風（以下「東日本台風」といいます。）」と命名されました。

この災害で犠牲になられた方とご遺族に対し、心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

東日本大震災を上回る過去最多の自治体で災害救助法が適用されたこの記録的な災害では、本市に大雨特別警報が発表され、24時間の降水量としては1976年の統計開始以来最大となる253mmの大雨をもたらし、昭和22（1947）年のカスリーン台風以来の大災害となりました。

市では、近年経験のない大規模な災害が予想されたことから、前日から対策を協議し、10月12日9時00分に災害対策本部を設置しました。その後、市民の皆様に対する避難情報の発令及び指定避難所等の開設、国県の関係機関や市消防団等と連携した被害状況の確認、救助活動に加え、河川からの浸水防止や排水対応など、市民の生命・財産を守るための活動に尽力いたしました。

しかしながら、市内各所で浸水害や土砂災害などが発生し、尊い人命が失われたほか、多くの市民が住宅をはじめとする財産に被害を受け、台風通過後も被災した家財の片づけなどの対応や生活の再建に追われるなど、その被害が深刻なものとなってしまったことは痛恨の極みであります。

以来、市では、全庁をあげて復旧復興活動にあたるとともに、この災害を重大な教訓とした取組を継続しています。

いつ再び起きるかわからない未曾有の災害から市民の皆様の生命・財産を守るためには、河川改修等のハード整備はもとより、「空振り」を恐れず可能な限り明るい時間帯に避難情報を発令すること、発令された避難情報がより確実に市民の皆様に届くような仕組みを構築すること、市民の皆様が日頃から地域の危険箇所を把握し、自らの判断により避難行動をとれるよう日頃から防災意識を高めていくことなど、市民の皆様のご理解・ご協力をいただきながら取り組んでいくべき課題が山積しています。

また、何より、この災害の記録を後世に引き継ぎ、災害の教訓を忘れないようにする必要のあることから、この災害記録誌を発行するものです。

本記録誌を発行するにあたり、多くの方々から体験談をお伺いしました。その中で、災害により作業場や農機具などを失いながらも、家族や仲間、ボランティア、関係者に支えられながら、その再建に立ち向かう稲岡町の嶋田様の体験談は、災害の恐怖や被害に遭われた悲しみとともに、復興への思いが伝わってくるものでありましたので、次頁にご紹介いたします。

現在においても、多くの皆様が未だ復興の途上であり、被災された悲しみの中にあることを市職員全員が胸に刻み、引き続き、市民の皆様の安全・安心の向上のために努めてまいります。

令和3年1月

足利市

災害記録誌を発行するにあたり、多くの市民の方々から体験談をお伺いしました。体験談を頂戴しましたすべての方に御礼を申し上げます。

その中で、水害で作業場や農機具などを失いながらも、家族や仲間、ボランティア、関係者に支えられながら、その再建に立ち向かう稲岡町のいちご農家 嶋田様の体験談をご紹介します。

台風第19号の被害を振り返って

令和元年10月12日、台風第19号の大雨により旗川が増水し、越水した水が稲岡町地内に流れ込み、いちご栽培用のハウス50aが倒壊し、収穫を控えたいちごが全て収穫できなくなってしまいました。農機具も殆どのものが水に浸ってしまい、使い物にならなくなり、作業場も車も、みんな泥水に浸かってしまいました。こんなことになるなんて、想像したこともありませんでした。近年、各地で起きている自然災害の報道を見ても、他人事の様で、ハザードマップが真っ白なこの地域においては、大丈夫だという安心感しかありませんでした。

あの日は土曜日で、朝から雨が降っていました。午後になると雨や風が強くなり、とても心配でした。ハウスへ何度も行って、風への備えや、大雨への対応など大丈夫か確認し、何事も無く過ぎ去ってくれるのを待っていました。

夕方になって、雨も少し弱くなってきたので、一安心して家族で夕飯を食べ、テレビを見ていたら、裏の家のご主人から電話があり、「家の前を水が流れている」とのことでした。慌てて外へ出ようとしたら、自宅の庭にも水が流れていました。一瞬何が起きているのか理解できませんでした。

道路に出て、一面を見渡すと、川の中に立っているようでした。膝の上までだった水位もだんだんと上昇し、暗くて状況を確認することはできませんでした。「これはもう駄目だ」と直感しました。

家も心配だったので戻ってみると、玄関にも水が入って来ていました。このままでは命の危険もあるので、消防へ連絡しましたが、大混乱しているようで、二階への避難を指示され、家族全員二階で時が経つのを待ちました。

窓から外を見ると、水が川のように庭を流れ、ドラム缶や漂流物が濁流とともに流れて行くのが見えました。停めてあった車も水の勢いで移動していました。

何時だったか覚えていませんが、台風が過ぎ去り月が出ていました。月明かりに浮かび上がるその光景は、今も忘れることはできません。

夜が明け、被害の全容が見えてきました。パイプハウスは全壊して、殆ど原形を留めず、流れ込んだ土砂が潰れたハウスの上や、中のいちごの株の上に堆積していました。鉄骨ハウスも柱が曲がり、ハウス全体が変形し、使い物にならない状態でした。中には土砂が堆積し、水流でえぐられた所や、サッシのガラスが飛び散っている場所もあり、悲惨な状態でした。今年のいちご栽培は諦めるしかないと感じました。

そんなことを思いながら自宅に戻ってみると、農機具も車も水に浸かり、使い物にならない状態でした。作業場も保冷库も土砂が堆積し、全て同様です。

数日経ち、農業の継続を諦めるしかないと考えていたときに、妻と娘から、「また、いちごを作るんでしょ」と言われました。その一言がとても大きな力となり、再建を決意させてくれました。

農業関係の仲間、市役所の職員の方々、そして社協のボランティアの方々など、多くの方々の力を借りて後片付けをすることができました。

年が明け、ハウスの再建、作業場・倉庫の再建、農機具の取得などを進めるにあたり、様々な申請手続きではとても苦労しました。

三月に入り、いちごの育苗ハウスでの親株の植え付けをし、やっといちごの作業が始まりました。

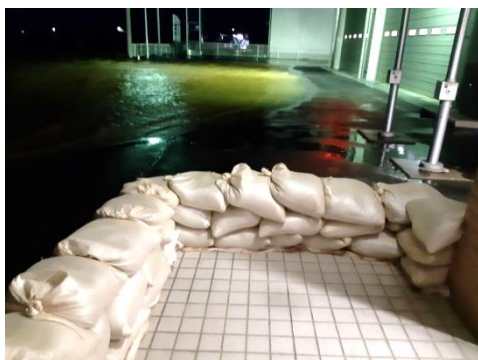
台風の被害から一年が過ぎました。昨シーズンはいちご栽培から離れていただけに、今、こうしていちごを栽培できる喜びは何事にも代えることのできないものです。そして、お手伝いをしてくださった多くの皆様にとっても感謝しています。

令和2年12月

嶋田 雅幸（足利市稲岡町在住）

〔記録写真〕

雨は、10月11日午後から降り始め、12日20時頃をピークに大雨が降り続いた。



東分署における土のう積み



ボートによる救助



第三中付近の道路冠水



渡良瀬川中橋付近の増水

10月13日の市内の様子、多くの住宅や自動車が被害にあった。
大規模な水害となった毛野・富田地区



老人保健施設内の浸水



自衛隊による要救助者の搬送



川崎町付近の大規模冠水



水没した自動車を確認する消防隊員



奥戸町 出流川の破堤箇所

市内の至る所で、大雨や河川増水に伴う被害が散見された。



小俣町 春日橋付近の護岸洗堀



毛野東部工業団地、東分署の冠水



毛野東部工業団地



奥戸町 出流川の破堤仮復旧



10月13日12時49分 奥戸町 尾名川水門



助戸大橋町 土砂災害現場



本城一 土砂災害現場



稲岡町 農業用水路破損



松田町 土砂災害現場



災害廃棄物 一次仮置場



災害廃棄物 二次仮置場



災害廃棄物 二次仮置場

目次

1	災害状況	- 1 -
	(1) 概要	- 1 -
	(2) 気象状況	- 1 -
	ア 台風経路図	- 1 -
	イ 地上天気図、衛星画像	- 2 -
	ウ 足利市降水量（日ごと、時間ごと）、総降水量	- 3 -
	(3) 河川・ダム の水位状況	- 4 -
	ア 河川（渡良瀬川、秋山川、その他市内河川等）の水量	- 4 -
	イ 周辺ダム（草木ダム）貯水量	- 6 -
	(4) 発令警報	- 7 -
	ア 概要	- 7 -
	イ 注意報	- 8 -
	ウ 警報	- 8 -
	エ 特別警報	- 8 -
2	市の対応	- 9 -
	(1) 体制	- 9 -
	(2) 災害時応急対応	- 9 -
	ア 災害対策本部等の設置及び開催状況	- 9 -
	イ 水防活動	- 11 -
	(3) 情報発信	- 12 -
	(4) 避難所の設置状況等	- 13 -
	ア 避難所設置状況	- 13 -
	イ 避難所別延人数	- 15 -
	(5) 消防活動	- 16 -
	(6) 市道・林道通行止め状況	- 21 -
	(7) 生活インフラ対応	- 22 -
3	被害状況	- 24 -
	(1) 概要	- 24 -
	ア 通報件数	- 24 -
	イ 被害件数	- 24 -
	(2) 人的被害	- 25 -
	ア 被害概要	- 25 -
	イ 死因	- 25 -
	(3) 家屋（建物）被害	- 25 -
	ア 被害概要	- 25 -
	イ 全壊/大規模半壊/半壊/一部損壊件数（罹災証明書交付件数）	- 26 -
	(4) 土砂災害	- 26 -

ア	被害概要.....	- 26 -
(5)	商工業被害.....	- 27 -
ア	被害概要.....	- 27 -
イ	被害件数.....	- 27 -
ウ	被害金額.....	- 27 -
(6)	農林業被害.....	- 28 -
ア	被害概要.....	- 28 -
イ	被害金額（作物別）.....	- 29 -
(7)	公共施設被害.....	- 29 -
ア	被害概要.....	- 29 -
イ	被災場所.....	- 30 -
(8)	上水道・下水道施設被害.....	- 31 -
ア	被害概要.....	- 31 -
イ	被害状況.....	- 32 -
(9)	その他被害.....	- 33 -
ア	被害概要.....	- 33 -
4	復旧・復興対応.....	- 34 -
(1)	災害ボランティア等の支援.....	- 34 -
ア	災害ボランティアセンターの運営状況.....	- 34 -
イ	ボランティア参加者数.....	- 34 -
(2)	公的機関からの支援.....	- 34 -
(3)	寄附金・義援金の受け入れ.....	- 35 -
ア	ふるさと足利応援寄附金.....	- 35 -
イ	足利市災害義援金.....	- 35 -
(4)	災害ごみの受入れ.....	- 36 -
ア	災害ごみの発生量（最終）.....	- 36 -
イ	仮置場の設置.....	- 36 -
(5)	災害ごみの処理状況.....	- 39 -
ア	初期対応.....	- 39 -
イ	災害ごみの受入れ.....	- 39 -
ウ	災害ごみの処理.....	- 39 -
(6)	災害相談・支援窓口の対応.....	- 40 -
ア	市民相談窓口の設置.....	- 40 -
(7)	支援制度.....	- 40 -
ア	企業支援.....	- 40 -
イ	住民支援.....	- 41 -
ウ	農業支援.....	- 44 -
5	自治会アンケート調査結果.....	- 45 -
(1)	被害の有無.....	- 45 -

(2) 被害の種類	- 46 -
(3) 避難情報の入手手段.....	- 49 -
(4) 緊急時の連絡体制	- 51 -
(5) 今後の連絡網等の作成.....	- 52 -
(6) 一時避難場所の変更や追加.....	- 53 -
6 検証及び改善策の実施	- 54 -
(1) 改善策の実施時期	- 54 -
(2) 主な検証項目	- 54 -
(3) 令和2年度に実施した主な改善策.....	- 56 -
ア 暫定版足利市洪水ハザードマップ 毛野・富田地区	- 56 -
イ 地域連絡網	- 57 -
ウ 災害時の連携協定等.....	- 57 -
エ 情報伝達訓練.....	- 58 -
オ 避難所開設・運営訓練.....	- 59 -
(4) 中橋の架替えについて	- 60 -
7 参考資料	- 61 -
(1) 災害復旧関連事業費.....	- 61 -
(2) 災害関連広報	- 66 -
ア 市広報紙「あしかがみ」	- 66 -
イ 足利市女性団体連絡協議会発行「あしかがの女性」	- 67 -
(3) 災害関連新聞記事	- 69 -

- ・この記録誌は、令和元年東日本台風に関する災害の状況と、市としての対応等を取りまとめたものです。
- ・本記録誌の数値等は、令和2(2020)年11月30日までに把握できたものであり、今後の復旧・復興の経過により変更になる場合があります。
- ・表紙の写真は、令和元(2019)年10月13日13時42分、県道佐野太田線及び渡良瀬橋川崎通りが交差する川崎町信号付近を北から撮影した航空写真です。

1 災害状況

(1) 概要

10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は、マリアナ諸島を西に進みながら、7日には大型で猛烈な台風となった。小笠原近海を北北西に進み、12日には北よりに進路を変え伊豆諸島北部を北北東に進んだ。12日19時00分前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過し、13日12時00分に日本の東で温帯低気圧に変わった。

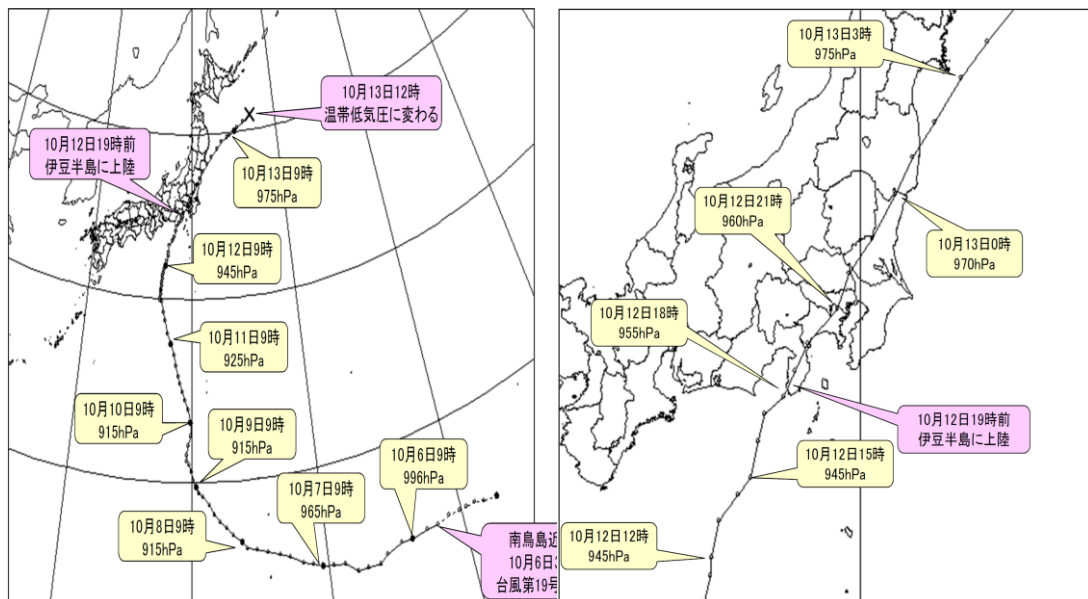
本市では、3時間、6時間、12時間、24時間降水量の観測史上1位の値を更新する降水量を記録した。

本市を流れる河川では、かつてないほどの水位上昇を記録し、市内の中小河川で複数箇所からの溢水、越水による被害が発生し、床上・床下等の住家被災のほか、自動車の水没、農地の冠水、農業用施設の被害、工場をはじめとした商工業施設の冠水、道路や河川その他の公共施設の損傷等、被害総額88億円を超える損害をもたらした。これまで本市を襲った自然災害としては、昭和22年カスリーン台風以来となる甚大な被害であった。

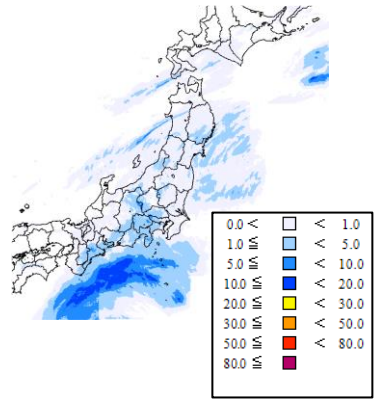
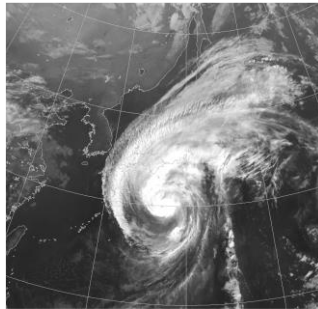
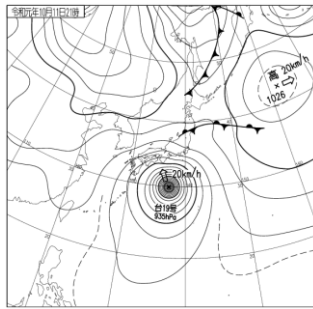
(2) 気象状況

気象状況の記録について、出典の記載のないものは、宇都宮地方気象台が公表している「令和元年 台風第19号に関する栃木県気象速報 10月17日修正版(以下、「県気象速報」という。)」から引用している。

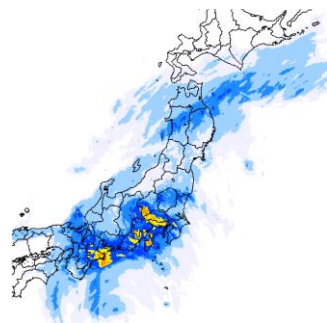
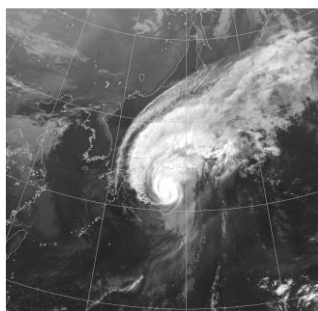
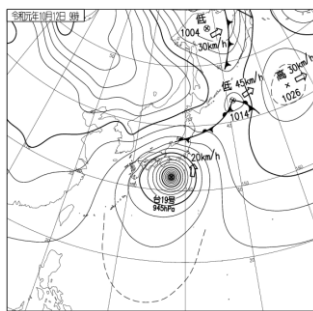
ア 台風経路図



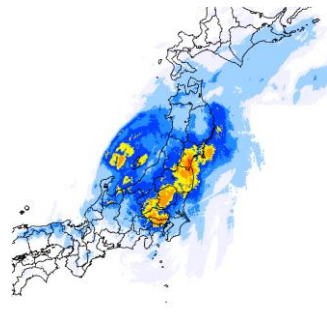
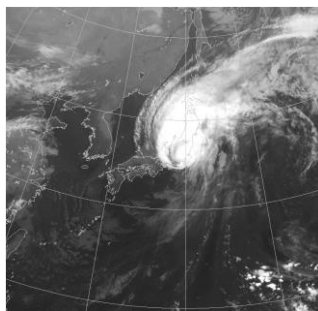
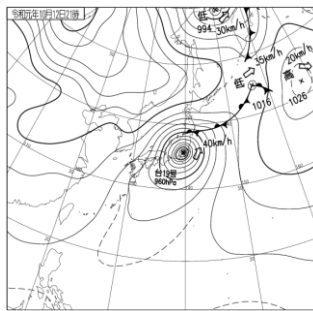
イ 地上天気図、衛星画像



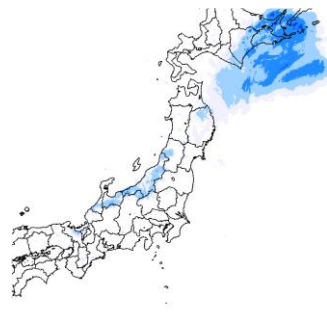
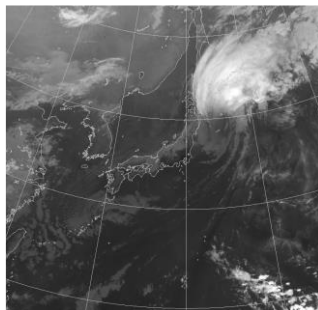
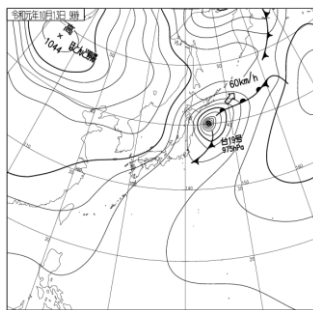
10月11日21時00分



10月12日09時00分

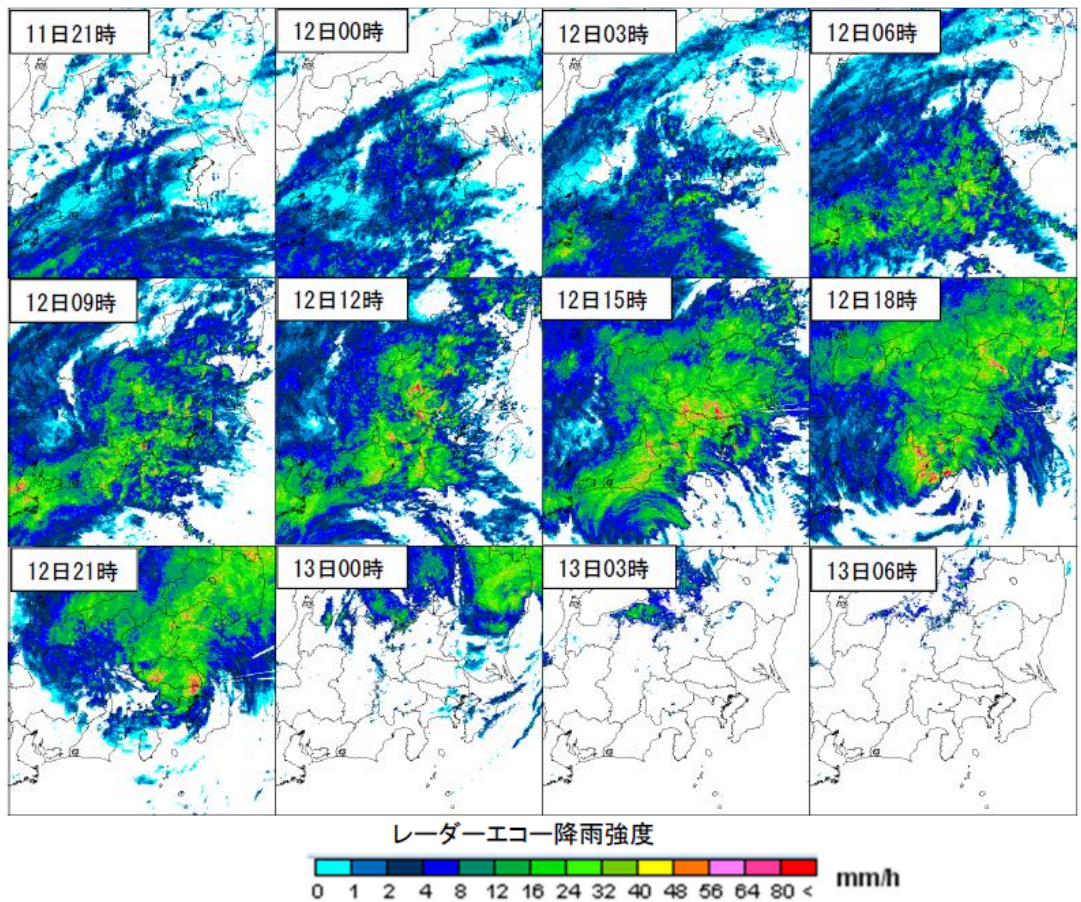
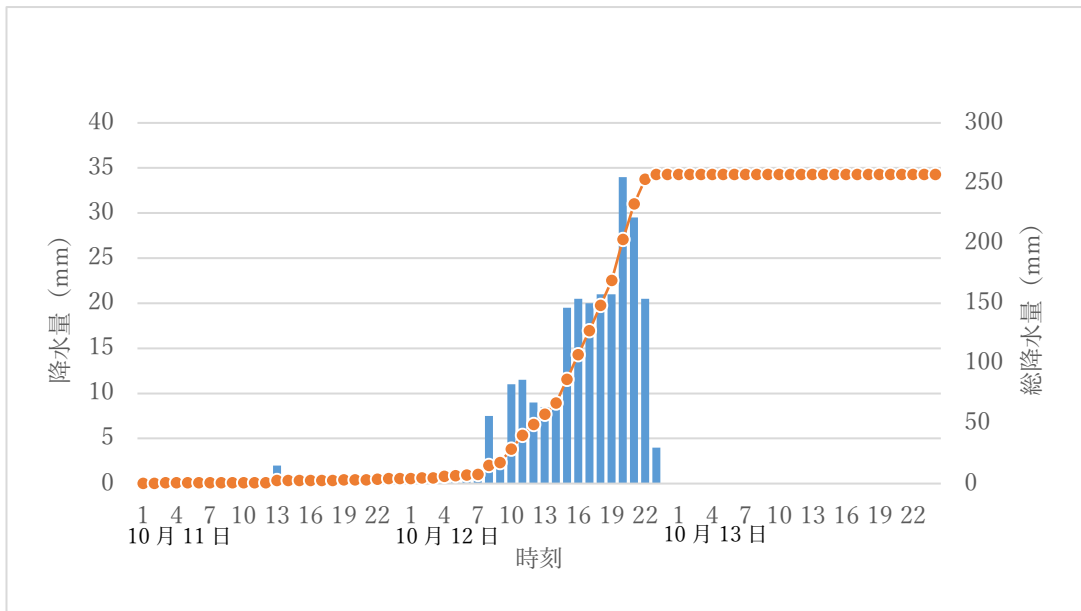


10月12日21時00分



10月13日09時00分

ウ 足利市降水量（日ごと、時間ごと）、総降水量



(3) 河川・ダムの水水位状況

ア 河川（渡良瀬川、秋山川、その他市内河川等）の水量

雨量（mm）

		足尾		津久原		足利(上渋垂) 矢場川、姥川		作原(田沼) 尾名川、出流川、蕨川流域		松田	
		時間 量	累計	時間 量	累計	時間 量	累計	時間 量	累計	時間 量	累計
		10/11	11:00	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	12:00	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
	13:00	0.5	0.5	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	2.0	1.0	1.0
	14:00	0.5	1.0	2.0	4.0	0.0	2.0	0.0	2.0	1.0	2.0
	15:00	2.0	3.0	0.0	4.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0
	16:00	0.5	3.5	0.0	4.0	0.0	2.0	1.0	3.0	0.0	2.0
	17:00	0.5	4.0	1.0	5.0	0.0	2.0	0.0	3.0	0.0	2.0
	18:00	0.0	4.0	0.0	5.0	0.0	2.0	0.0	3.0	0.0	2.0
	19:00	0.5	4.5	1.0	6.0	0.5	2.5	0.0	3.0	0.0	2.0
	20:00	0.5	5.0	0.0	6.0	0.0	2.5	0.0	3.0	0.0	2.0
	21:00	0.5	5.5	0.0	6.0	0.0	2.5	0.0	3.0	0.0	2.0
	22:00	0.0	5.5	0.0	6.0	0.5	3.0	1.0	4.0	1.0	3.0
	23:00	0.5	6.0	1.0	7.0	0.5	3.5	1.0	5.0	0.0	3.0
10/12	0:00	1.0	7.0	0.0	7.0	0.0	3.5	0.0	5.0	1.0	4.0
	1:00	1.0	8.0	1.0	8.0	0.0	3.5	0.0	5.0	0.0	4.0
	2:00	1.0	9.0	0.0	8.0	0.5	4.0	0.0	5.0	0.0	4.0
	3:00	0.5	9.5	0.0	8.0	0.0	4.0	1.0	6.0	0.0	4.0
	4:00	1.0	10.5	1.0	9.0	1.5	5.5	1.0	7.0	欠測	欠測
	5:00	6.5	17.0	6.0	15.0	0.5	6.0	3.0	10.0	欠測	6.0
	6:00	0.5	17.5	0.0	15.0	0.5	6.5	0.0	10.0	0.0	6.0
	7:00	0.5	18.0	1.0	16.0	0.5	7.0	0.0	10.0	1.0	7.0
	8:00	6.0	24.0	4.0	20.0	7.5	14.5	3.0	13.0	5.0	12.0
	9:00	10.5	34.5	5.0	25.0	2.5	17.0	5.0	18.0	3.0	15.0
	10:00	9.5	44.0	7.0	32.0	11.0	28.0	7.0	25.0	10.0	25.0
	11:00	20.0	64.0	17.0	49.0	11.5	39.5	16.0	41.0	欠測	欠測
	12:00	31.5	95.5	15.0	64.0	9.0	48.5	18.0	59.0	欠測	48.0
	13:00	26.0	121.5	12.0	76.0	8.5	57.0	10.0	69.0	8.0	56.0
	14:00	20.0	141.5	14.0	90.0	9.5	66.5	19.0	88.0	欠測	欠測
	15:00	33.0	174.5	21.0	111.0	19.5	86.0	23.0	111.0	欠測	84.0
	16:00	46.0	220.5	44.0	155.0	20.5	106.5	45.0	156.0	30.0	114.0
	17:00	49.5	270.0	43.0	198.0	20.0	126.5	42.0	198.0	25.0	139.0
	18:00	39.5	309.5	46.0	244.0	21.0	147.5	50.0	248.0	43.0	182.0
	19:00	36.0	345.5	38.0	282.0	21.0	168.5	38.0	286.0	37.0	219.0
	20:00	32.0	377.5	27.0	309.0	34.0	202.5	33.0	319.0	31.0	250.0
	21:00	29.5	407.0	25.0	334.0	29.5	232.0	30.0	349.0	29.0	279.0
	22:00	18.0	425.0	20.0	354.0	20.5	252.5	26.0	375.0	21.0	300.0
	23:00	6.0	431.0	6.0	360.0	4.0	256.5	7.0	382.0	5.0	305.0

出典：県気象速報、市雨量・河川情報等記録紙

水位 (m)

	渡良瀬川		桐生川	袋川	旗川	姥川	矢場川	
	足利(通4)	津戸(大瀬4)	広見	千歳	白旗橋	久野橋	後河原橋	足橋(高沢)
	時間	累計	時間	累計	時間	累計	時間	累計
計画高水位	6.54	8.54	4.00					5.31
氾濫危険水位	5.40	5.00	3.80	3.50				
避難判断推移	4.90	4.30	3.20	3.00				
氾濫注意水位	3.30	3.30	2.00	2.20	2.20	1.10	1.30	(3.60)
水防団待機水	3.00	2.20	1.70	1.70	1.80	0.80	1.00	(3.00)
10/12 0:00	1.13	2.19	-0.34	0.15	0.02	-0.66	0.60	0.32
1:00	1.74	2.16	-0.33	0.16	0.01	-0.65	0.60	0.29
2:00	1.69	2.13	-0.34	0.15	0.02	-0.65	0.60	0.27
3:00	1.69	2.11	-0.33	0.16	0.02	-0.65	0.59	0.25
4:00	1.72	2.15	-0.32	0.16	0.01	-0.64	0.59	0.24
5:00	1.67	2.13	-0.31	0.17	0.02	-0.62	0.59	0.24
6:00	1.61	2.13	-0.32	0.20	0.01	-0.61	0.60	0.23
7:00	1.63	2.13	-0.30	0.19	0.01	-0.60	0.61	0.23
8:00	1.62	1.74	-0.27	0.23	0.01	-0.54	0.64	0.25
9:00	1.62	0.87	-0.23	0.46	0.02	-0.43	0.70	0.28
10:00	1.32	0.35	-0.17	0.60	0.02	-0.23	0.90	0.35
11:00	0.98	0.32	-0.08	0.84	0.02	0.10	1.10	0.50
12:00	0.87	0.42	-0.01	1.00	0.02	0.40	1.33	0.77
13:00	0.85	0.61	0.08	1.11	0.02	0.52	1.43	1.06
14:00	0.89	0.71	0.11	1.21	0.02	0.58	1.52	1.36
15:00	0.95	1.55	0.22	1.36	0.02	0.73	1.63	1.62
16:00	1.09	2.79	0.42	1.77	0.24	0.93	1.87	1.88
17:00	2.07	3.14	1.09	2.02	0.54	1.04	2.06	2.17
18:00	2.42	3.66	2.07	2.42	0.83	1.15	2.26	2.45
19:00	2.88	4.02	2.72	2.78	2.31	1.22	2.36	2.70
20:00	3.32	4.27	2.95	3.13	3.48	1.42	2.49	2.98
21:00	3.68	4.20	3.04	3.29	3.67	1.71	2.59	3.27
22:00	3.49	4.25	3.10	3.31	3.71	2.14	2.65	3.70
23:00	3.59	4.29	3.02	2.98	3.66	2.43	2.63	4.08
10/13 0:00	3.44	4.04	2.93	2.51	3.57	2.67	2.51	4.42
1:00	3.18	3.75	2.88	2.13	3.54	2.66	2.31	4.70
2:00	2.92	3.55	2.73	1.96	3.50	2.63	2.08	4.75
3:00	2.73	3.41	2.68	1.80	3.44	2.62	1.82	4.71
4:00	2.67	2.78	2.55	1.67	3.26	2.60	1.53	4.58
5:00	2.44	2.21	2.46	1.56	3.13	2.59	1.36	4.43
6:00	2.19	2.16	2.33	1.46	3.14	2.57	1.25	4.27
7:00	2.10	2.07	2.19	1.40	2.85	2.56	1.16	4.14
8:00	2.06	1.52	2.15	1.36	2.64	2.54	1.10	3.97
9:00	2.00	1.34	2.00	1.33	2.60	2.50	1.05	3.84
10:00	1.77	1.05	1.94	1.28	2.33	2.40	1.01	3.73
11:00	1.72	0.83	1.80	1.23	2.19	2.28	0.98	3.58
12:00	1.58	0.70	1.60	1.19	2.16	2.11	0.96	3.43
13:00	1.52	0.66	1.39	1.14	2.07	1.93	0.93	3.27

出典：市雨量・河川情報等記録紙

※太字は、氾濫注意水位を超えた数値

イ 周辺ダム（草木ダム）貯水量

放流量 (m³/s)

日時	草木ダム	高津戸ダム
10/11 15:00	121.75	
16:00	121.52	77.80
17:00	121.25	102.40
18:00	120.99	
19:00	120.64	
20:00	122.33	
21:00	230.56	
22:00	414.62	201.72
23:00	438.23	200.59
10/12 0:00	433.20	
1:00	425.68	
2:00	420.30	
3:00	435.43	
4:00	434.28	
5:00	434.21	
6:00	434.39	
7:00	308.34	
8:00	69.11	377.09
9:00	55.67	
10:00	76.28	
11:00	77.55	
12:00	77.23	
13:00	91.95	
14:00	320.34	
15:00	486.44	
16:00	502.40	527.76
17:00	529.52	
18:00	573.28	
19:00	611.26	
20:00	615.03	
21:00	615.29	
22:00	614.48	
23:00	611.34	
10/13 0:00	612.60	
1:00	611.27	
2:00	611.89	
3:00	481.64	
4:00	289.63	
5:00	288.93	
6:00	289.23	
7:00	154.90	

出典：市雨量・河川情報等記録紙【危機管理課】

(4) 発令警報

発令警報の記録について、「県気象速報」による。

ア 概要

日付	時間	種別
令和元年 10月11日	10:12	雷注意報 発表
	22:07	大雨注意報 発表 強風注意報 発表
10月12日	6:19	大雨警報(浸水害) 発表 洪水注意報 発表
	11:26	大雨警報(土砂災害、浸水害) 発表
	13:44	洪水警報 発表 暴風警報 発表
	16:40	土砂災害警戒情報(名草地区) 発表
	19:50	大雨特別警報(土砂災害、浸水害) 発表
10月13日	2:20	大雨特別警報から大雨警報(土砂災害)へ変更 雷注意報 解除 暴風警報から強風注意報へ変更
	6:18	大雨警報 解除
	10:30	強風注意報 解除
	16:27	洪水警報 解除

警報等			降水量		観測所		降雨検出時刻		月	日	時	分
定時報	6:00	現在迄	時間	足利	足尾	作原	西分署	西分署				
		おし報告	18:00	21	145	39	304	50	218			
時間	種別	発表解除	(土.水)									
6:19	大雨警報(浸水害)	発表	大雨特別警報	発表	19:50							
11:26	大雨警報(土砂災害)	発表	解除		18:20							
13:44	洪水警報	発表										
16:40	土砂災害警戒情報	発表										
16:55	避難勧告	発表										
2:20	暴風警報	解除										
6:15	土砂災害警戒情報	解除										
6:18	大雨警報(土砂災害)	解除										
16:27	洪水警報	解除										
			ダム放水量(t/秒)				河川水位(m)					
			時間	砥木ダム	高津戸ダム	時間	渡良瀬川	袋川	桐生川	矢場川	旗川	姥川
			18:00	21	202%	18:00	2.42	2.42	2.07	2.45	2.83	1.15
			19:00		528%	19:00	2.88	2.78				
			18:00	59%		21:00	3.68	3.29	3.04	2.59	3.67	1.71
			19:00	616%		22:00	3.49	3.31	3.10	2.65	3.01	2.14
			23:00	606%								

ホワイトボードへ警報発令等を記載

イ 注意報

種別	発令日時	解除日時	経過時間
洪水注意報	令和元年10月12日 6:19	令和元年10月12日 13:44	0日 07時25分間
強風注意報	令和元年10月13日 2:20	令和元年10月13日 10:30	0日 08時10分間

ウ 警報

種別	発令日時	解除日時	経過時間
洪水警報	令和元年10月12日 13:44	令和元年10月13日 16:27	1日 02時43分間
暴風警報	令和元年10月12日 13:44	令和元年10月13日 2:20	0日 12時36分間
大雨警報	令和元年10月12日 6:19	令和元年10月12日 19:50	0日 13時31分間
大雨警報	令和元年10月13日 2:20	令和元年10月13日 6:18	0日 03時58分間

エ 特別警報

種別	発令日時	解除日時	経過時間
大雨特別警報	令和元年10月12日 19:50	令和元年10月13日 2:20	0日 06時30分間



10月12日22時56分の中橋付近の様子

2 市の対応

(1) 体制

- ・ 災害対策本部

本部長	市長
副本部長	副市長、教育長
構成員	総合政策部長、総務部長、 ほか庁議メンバー、関係課長等
- ・ 災害復興本部

本部長	市長
副本部長	副市長、教育長
構成員	総合政策部長、総務部長、 ほか庁議メンバー、関係課長等
- ・ 市内災害対策連絡会

座長	総務部長
副座長	都市建設部長、消防長
構成員	企画政策課長、行政管理課長、 ほか関係課長等

(2) 災害時応急対応

ア 災害対策本部等の設置及び開催状況

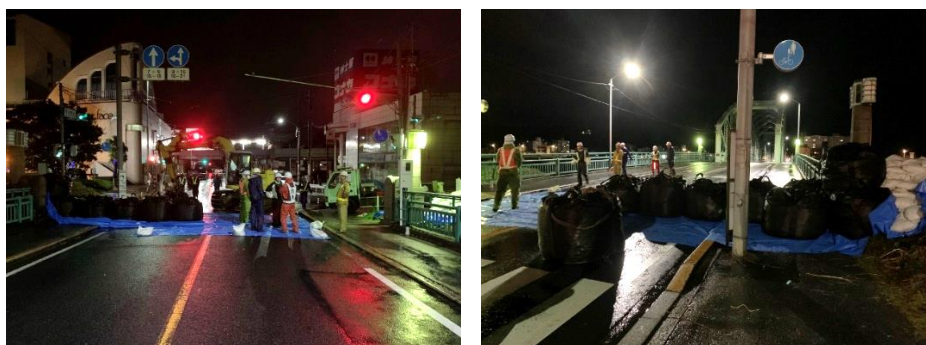
日付	時間	内容
令和元年 10月11日	13:30	市内災害対策連絡会を開催 10月12日9時00分の自主避難所の開設を決定 生涯学習センター、毛野公民館、山前公民館 御厨公民館、小俣公民館、北中体育館
10月12日	9:00	足利市災害対策本部設置 第1回足利市災害対策本部開催
	14:00	警戒レベル3 《避難準備・高齢者等避難開始》を発令 【対象地区】 小俣 6,726名 葉鹿 7,133名 三和 3,712名 北郷 12,864名 名草 1,673名
	15:00	第2回足利市災害対策本部開催

日付	時間	内容
10月12日	16:40	土砂災害警戒情報の発表 【対象地区】 名草地区
	16:55	警戒レベル4《避難勧告》に引き上げ 【対象地区】 名草 1,673名
	18:00	第3回足利市災害対策本部開催
	19:45	避難所開設命令 【対象避難所】 富田小学校、富田中学校
	20:45	避難勧告発令《垂直避難》 【対象地区】 市内全域 147,608名
	22:00	第4回足利市災害対策本部開催
10月13日	1:00	第5回足利市災害対策本部開催
	10:00	第6回足利市災害対策本部開催
	17:00	第7回足利市災害対策本部開催
10月14日	18:00	第8回足利市災害対策本部開催
10月15日	18:00	第9回足利市災害対策本部開催
10月16日	18:00	第10回足利市災害対策本部開催
10月17日	18:00	第11回足利市災害対策本部開催
	15:30	助戸大橋町4世帯7名避難勧告 【避難先】 研修センター
10月18日	15:45	西宮町18世帯45名避難勧告 【避難先】 さいこうふれあいセンター 本城一丁目35世帯75名避難勧告 【避難先】 第二中学校体育館（19日から本城一丁目自治会館）
	17:00	第12回足利市災害対策本部開催
10月19日	15:00	田島町2世帯6名避難勧告 【避難先】 田島町自治会館
10月20日	17:00	第13回足利市災害対策本部開催
10月21日	17:30	第14回足利市災害対策本部開催

日付	時間	内容
10月22日	13:00	月谷町1世帯3名避難勧告 【避難先】 田島町自治会館
11月5日	9:30	第15回足利市災害対策本部開催
11月21日	14:45	第16回足利市災害対策本部開催
11月21日	16:00	足利市災害対策本部解散 足利市災害復興本部設置 第1回足利市災害復興本部開催

イ 水防活動

日付	時間	内容
令和元年 10月12日	6:19	警戒配備職員（危機管理課ほか行政管理課）参集 安足土木事務所、足利警察署に報告、警戒開始
	14:00	消防車両等による市内巡視及び広報
	19:00	渡良瀬川流域分団出動命令
	21:00	中橋通行止め開始
	21:12	中橋の水防活動開始 （渡良瀬川左岸に大型土のう設置）
	21:33	中橋の水防活動開始 （右岸に大型土のう設置）
10月13日	1:30	中橋の水防活動終了
	3:35	自衛隊へ災害派遣要請（県→自衛隊） ※浸水に伴う救助活動
	8:00	中橋の大型土のう撤去開始
	9:16	中橋の大型土のう撤去完了
	9:17	中橋通行止め解除



中橋土のう積みの様子

(3) 情報発信

令和元年10月11日から13日にかけて、市が消防防災情報メール及びエリアメールで市民等に対し、気象情報及び避難情報を発信しました。

日付	時間	内容
令和元年 10月11日	20:04	10月12日(土)9時00分に自主避難所を開設すること 生涯学習センター、毛野公民館、山前公民館、御厨公民館、小俣公民館、北中体育館
	21:42	高津戸ダム放流 毎秒202トン

日付	時間	内容
令和元年 10月12日	6:37	<u>6時19分 大雨警報(浸水害)</u>
	8:43	8時30分 高津戸ダム放流 毎秒200トン以下
	11:39	<u>11時26分 大雨警報(土砂災害)</u>
	14:03	<u>14時00分</u> <u>警戒レベル3 避難準備・高齢者避難開始</u> 小俣地区、葉鹿地区、三和地区、 北郷地区、名草地区
	14:08	<u>13時44分 洪水・暴風警報</u>
	14:36	14時30分 利根川上流部氾濫注意情報
	15:00	<u>警戒レベル3 避難準備・高齢者避難開始(避難所の変更)</u> 小俣公民館→小俣小学校
	15:23	15時09分 高津戸ダム放流 毎秒439トン
	16:40	<u>土砂災害警戒情報</u> 名草地区
	17:47	17時40分 渡良瀬川下流部氾濫注意情報
	17:57	17時50分 袋川氾濫注意情報
	18:22	<u>16時55分 警戒レベル4 避難勧告</u> 名草地区

日付	時間	内容
10月12日	18:49	18時37分 高津戸ダム放流 毎秒1,013トン
	18:53	18時50分 渡良瀬川上流部氾濫注意情報
	19:50	<u>大雨特別警報</u>
	20:14	20時10分 袋川氾濫警戒情報
	21:32	21時30分 渡良瀬川上流部氾濫警戒情報
	21:47	<u>20時45分 警戒レベル4 避難勧告</u> <u>市全域 中橋通行止め</u>
	22:52	22時50分 渡良瀬川下流部氾濫警戒情報
	22:59	22時40分 利根川上流部氾濫警戒情報
10月13日	2:37	2時20分 暴風警報解除
	6:26	6時18分 大雨警報(土砂災害)解除
	10:04	9時50分 高津戸ダム放流 毎秒200トンを下回る
	16:34	16時27分 大雨洪水警報解除
	19:28	すべての気象警報、避難情報の解除

(4) 避難所の設置状況等

ア 避難所設置状況

日付	時間	設置状況
令和元年 10月12日	9:00	自主避難所の開設 中央地区：生涯学習センター 東部地区：毛野公民館 西部地区：山前公民館、小俣公民館 南部地区：御厨公民館 北部地区：北中学校
	14:00	指定避難所の開設・物資の支給 西部地区：小俣小学校、葉鹿小学校、坂西中学校 北部地区：北郷小学校
	14:00	自主避難所の閉鎖 西部地区：小俣公民館
	16:45	指定避難所の開設・物資の支給 北部地区：大月小学校
	17:10	指定避難所の開設 東部地区：毛野南小学校

日付	時間	設置状況
10月12日	17:15	指定避難所の開設 西部地区：山前小学校
	17:30	指定避難所の開設 南部地区：御厨小学校
	20:45	指定避難所の開設 中央地区：けやき小学校、さいこうふれあいセンター、東山小学校、第三中学校 南部地区：山辺小学校、南小学校
	21:00	指定避難所の開設 東部地区：富田中学校
	21:30	指定避難所の開設 東部地区：富田小学校
10月13日	0:30	指定避難所の閉鎖 中央地区：けやき小学校、東山小学校 西部地区：葉鹿小学校 南部地区：南小学校
	6:00	指定避難所の閉鎖 中央地区：生涯学習センター、第三中学校
	6:35	指定避難所の閉鎖 北部地区：大月小学校
	7:00	指定・自主避難所の閉鎖 中央地区：さいこうふれあいセンター 西部地区：山前小学校、小俣小学校 南部地区：御厨公民館、御厨小学校 北部地区：北中学校
	7:30	指定避難所の閉鎖 西部地区：坂西中学校
	7:40	指定避難所の閉鎖 北部地区：北郷小学校
	9:00	指定・自主避難所の閉鎖 西部地区：山前公民館 南部地区：山辺小学校
	10:00	自主避難所の開設 東部地区：富田公民館
	10:00	指定避難所の閉鎖 東部地区：富田中学校、富田小学校

日付	時間	設置状況
10月13日	10:10	指定避難所の閉鎖 東部地区：毛野南小学校
10月14日	18:00	自主避難所の閉鎖 東部地区：富田公民館
10月17日	15:45	避難所の開設 中央地区：研修センター
10月18日	15:45	指定避難所の開設 中央地区：第二中学校、さいこうふれあいセンター
10月19日	9:00	指定避難所の閉鎖 中央地区：第二中学校
	9:00	避難所の開設 中央地区：本城一丁目自治会館
	15:00	避難所の開設 北部地区：田島町自治会館
10月25日	16:00	自主避難所の閉鎖 東部地区：毛野公民館
10月26日	12:00	避難所の閉鎖 中央地区：本城一丁目自治会館 北部地区：田島町自治会館
11月9日	8:30	避難所の閉鎖 中央地区：研修センター
11月21日	16:00	指定避難所の閉鎖 中央地区：さいこうふれあいセンター

イ 避難所別延人数

避難所	10月12日	10月13日以降	合計
生涯学習センター	185人	—	185人
毛野公民館	66人	150人	216人
山前公民館	19人	—	19人
御厨公民館	41人	—	41人
北中学校	223人	—	223人
小俣小学校	297人	—	297人
葉鹿小学校	119人	—	119人
坂西中学校	253人	—	253人

避難所	10月12日	10月13日以降	合計
北郷小学校	389人	—	389人
大月小学校	64人	—	64人
毛野南小学校	82人	—	82人
山前小学校	72人	—	72人
御厨小学校	21人	—	21人
けやき小学校	21人	—	21人
さいこうふれあいセンター	33人	102人	135人
東山小学校	4人	—	4人
第三中学校	46人	—	46人
山辺小学校	45人	—	45人
南小学校	0人	—	0人
富田中学校	36人	—	36人
富田小学校	51人	—	51人
富田公民館	26人	19人	45人
研修センター	—	78人	78人
本城一丁目自治会館	—	18人	18人
田島町自治会館	—	27人	27人
合計	2,093人	394人	2,487人

(5) 消防活動

日付	時間	活動内容
令和元年 10月12日	6:19	消防職員（幹部職員、消防防災担当） 参集
	10:30	消防職員自宅待機命令
	14:00	消防車両による市内巡視及び広報（適宜実施）
	15:30	非番職員参集（2号招集）
	19:00	渡良瀬川流域分団出動命令（1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 14, 15, 16, 17分団）
	19:23	稲岡町 現地活動
	19:23	市民から旗川河川氾濫の通報あり
	19:25	通信指令課より東分署に出動指令

日付	時間	活動内容
10月12日	19:30	<p>【常盤町】 住家被害（床上下浸水）の家屋から計5名救出</p> <p>【山川町】 住家被害（床上下浸水）の老健施設及び福祉施設複数箇所から計17名救出</p> <p>【朝倉町】 住家被害（床上下浸水）の家屋から計34名救出</p> <p>【稲岡町】 ・東分署東水槽車隊（3名）現場到着 ・旗川 稲岡橋上流付近確認</p>
	19:35	<p>【稲岡町】 東水槽車隊：徒歩で周辺住民に避難を呼びかけ</p>
	19:45	<p>【稲岡町】 旗川（安藤製作所南側）越水を確認</p>
	19:50	<ul style="list-style-type: none"> ・非番職員招集（1号招集） ・団本部（正副団長）本部参集、全分団出動命令
	20:45	<p>渡良瀬川に関わる水門閉鎖の連絡を受け、渡良瀬川流域分団の広報中止</p> <p>【大久保町】 住家被害（床上下浸水）の家屋から計10名救出</p>
	20:50	<p>【寺岡町、稲岡町、駒場町】 ・富田地区（寺岡町、稲岡町、駒場町）で車両水没事案が多数発生。計車両5台、6名の救出 ・寺岡町の水没車両内に要救助者ありの情報。なお、救出に時間を要する。</p>
	20:53	<p>【寺岡町】 ・救出活動 ・南水槽車隊（4名）駒場町権田久橋付近に出動</p>
	21:00	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回中の消防署団車両全てに帰署（所）を指示 ・市内各地で道路冠水、住家被害、車両水没事案が多数発生。計15名救出
	21:05	<p>【寺岡町】 ・南水槽車隊 現場到着</p>
	21:07	<p>【寺岡町】 ・南水槽車隊 救出活動開始</p>

日付	時間	活動内容
10月12日	21:12	【寺岡町】 ・乗用車に1家族5名発見、救出完了 ・他車両の救出完了1名救出
	21:25	【寺岡町】 第10分団車を発見、救出に向かうが急流及び水深が深く、富田高架橋北付近に一旦退避する。
	22:10	【寺岡町】 現場に救命ボート搬送依頼
	22:30	【寺岡町】 車両3台から脱出してきた5名を救出
	23:15	【寺岡町】 救命ボートを使用し、救出再開するも、水流が強く操船不能であるため活動停止。車両のマイク、トラメガで要救助者に継続して声がけ実施。
	23:30	【寺岡町】 車両2台からの自力脱出者4名を保護
10月13日	0:40	【寺岡町】 現場に救助隊と船外機搬送を依頼。
	0:50	各分団3名だけ残り規模縮小（第10分団を除く） 【大久保町】 住家被害（床上下浸水）の家屋から計12名救出
	1:00	【大久保町】 住家被害（床上下浸水）の特別養護老人施設から計33名救出
	2:10	【寺岡町】 東水槽車隊（3名）が到着
	2:12	【寺岡町】 水位が減少確認後、南水槽車隊ほか消防職団員計7名で、救命ボートによる救出を再開
	2:20	全分団員解散（第10分団を除く）
	3:00	【寺岡町】 救助隊、船外機到着。直ちに水難救助隊（5名）による活動支援開始
	3:08	【寺岡町】 水難救助現場から車両3台、要救助者8名（CPA1名、負傷者2名を含む）を救出

日付	時間	活動内容
10月13日	3:19	【寺岡町】 救出した8名中の3名（CPAの1名と負傷者2名） を作業車で搬送開始
	3:20	【寺岡町】 水難救助隊により車両2台、5名救出。水難救助現場の全要救助者救出完了。
	3:34	作業車と救急車のドッキングポイントを佐野市村上町セブンイレブン及び国道50号高橋跨道橋付近に設定
	3:37	【寺岡町】 作業車、救急車との合流のため転戦移動開始
	3:48	【寺岡町】 作業車と救急車合流
	3:49	【寺岡町】 CPA 傷病者1名を救急車内に収容
	3:50	【寺岡町】 作業車、高橋跨道橋に向け転戦移動開始
	4:00	【寺岡町】 作業車、救急車2台と合流
	4:03	【寺岡町】 それぞれの救急車に残る2名の傷病者を車内収容完了
	4:05	・栃木県知事より自衛隊災害派遣要請（孤立者救助） 【川崎町】 ・住家被害（床上下浸水）の家屋から計8名救出
	4:13	【寺岡町】 CPA 傷病者搬送の救急車、足利赤十字病院到着
	4:28	【寺岡町】 救出した3人のうち1名搬送の救急車、足利赤十字病院到着
	4:31	【寺岡町】 残り1名搬送の救急車、足利赤十字病院到着
	5:00	【寺岡町】 駒場町（寺岡町）の水難救助現場活動終了 【大久保町】 住家被害（床上下浸水）の家屋から計6名救出

日付	時間	活動内容
10月13日	5:30	第10分団解散
	6:15	正副団長解散
	8:00	【大久保町、川崎町】 ・住家被害（床上下浸水）の家屋から計33名救出 ・消防隊により浸水家屋の孤立者計31名、自衛隊により数十人を救出
	10:30	【奥戸町】 水没車両4台中の1台から自力脱出した1名を避難誘導
	12:00	非番職員の規模縮小
	16:27	幹部職員、消防防災担当解散



寿町周辺



朝倉町周辺



決壊した出流川(寺岡町)



奥戸町周辺

(6) 市道・林道通行止め状況

日付	時間	対応状況
令和元年 10月12日	12:00	市道金丸五十部通り通行止め
	14:40	迫間町地内法定外道路通行止め
	15:50	市道五十部小俣通り通行止め
	不明	市道大久保町87号線（迫間地下道通行止め）
	不明	市道川崎町70号線（大久保地下道通行止め）
10月13日	9:00	市道葉鹿町91号線通行止め 林道入山線通行止め
	10:00	林道栗谷松田線通行止め
	13:00	林道野山線通行止め
	14:00	林道大岩月谷線通行止め
	16:00	市道板倉町52号線通行止め
	16:15	市道稲岡町4号線通行止め 市道樺崎町4号線通行止め
10月14日	11:00	市道駒場町2号線通行止め 市道駒場町8号線通行止め 市道寺岡町61号線通行止め
	13:05	市道鷗木町6号線通行止め
	15:20	市道多田木町3号線外通行止め
10月15日	11:45	市道稲岡町19号線通行止め 市道寺岡町18号線通行止め

※上記の箇所の外、10月12日夕方から13日にかけて、毛野・富田地区で浸水による道路冠水や通行止め箇所が多数発生した。



道路から流された軽自動車（寺岡町）

(7) 生活インフラ対応

足利市生活路線バス「あしバスアッシー」

日付	路線	対象路線バス	対応状況
令和元年 10月12日	小俣線（上り）	小俣北町 17時22分発	運休
	小俣線（下り）	アピタ 15時44分発	終点を変更 (小俣北町→ 小俣公園入口)
		アピタ 18時40分発	運休
	松田線（上り）	松田町 17時51分発	運休
	松田線（下り）	アピタ 16時23分発	終点を変更 (松田町→ 坂西団地)
		アピタ 18時50分発	運休
	行道線（上り）	赤松台北 18時05分発	運休
	行道線（下り）	アピタ 17時24分発 アピタ 18時55分発	運休
	富田線（上り）	岡崎山 17時31分発	運休
	富田線（下り）	アピタ 16時08分発	終点を変更 (岡崎山→毛野新 町中央児童公園)
		アピタ 19時00分発	運休
	山辺線 （左回り）	足利赤十字病院 13時30分発	運休
	山辺線 （右回り）	足利赤十字病院 15時15分発	運休
	御厨線 （右回り）	足利赤十字病院 16時00分発	運休
	名草線（上り）	入名草 16時20分発	運休
	名草線（下り）	アピタ 17時33分発	運休
	デマンド運行	東武足利市駅 17時00分発 東武足利市駅 18時30分発 アピタ 17時05分発 アピタ 18時35分発	運休

日付	路線	対象路線バス	対応状況
10月13日	富田線	全線	起終点を変更 (岡崎山→ 東幸楽荘)
	名草線	全線	起終点を変更 (入名草→ 日光神社)
	御厨線 (左回り)	御厨公民館入口 7時00 分発	運休
	御厨線 (右回り)	足利赤十字病院 9時10 分発	運休
	御厨線	全線	停留所を迂回 (福富町一丁目、下 加子、野田茂木停 留所)
	名草線(上り)	入名草 7時12分発 入名草 9時10分発	運休
	名草線(下り)	東武足利市駅 8時00分 発	運休

3 被害状況

(1) 概要

ア 通報件数

地区	被害種別								計
	住家	非 住家	崖 (土砂)	道路	河川	橋梁	排水・ 用水	その他	
西校			2				2	2	6
柳原	4		4	3			1	3	15
東校	1							1	2
相生	4	1	1		1		1	1	9
助戸	71	2		10			2	4	89
千歳	20			1			1	2	24
大橋	10			8	1		2		21
毛野	315	15	1	18			14	18	381
北郷	25	5	14	47	22	5	22	28	168
名草		1	14	29	9		10	10	73
富田	163	10	2	31	8	1	7	16	238
三重	4	1	1	12	1		12	4	35
山前	2	1	2	7			2	2	16
三和	7	3	7	12	6	6	13	6	60
葉鹿	2			6	3		6	2	19
小俣	14	2	1	15	5		6	3	46
矢場川	3			3			1		7
山辺	66	2		7			1	6	82
御厨	4			9	1		2	2	18
筑波				1					1
久野	4			4	1			1	10
梁田	13	1		10	2		1	3	30
計	732	44	49	233	60	12	106	114	1,350

イ 被害件数

	被害種別								計
	住家	非 住家	崖 (土砂)	道路	河川	橋梁	排水・ 用水	その他	
市内計	845	45	51	271	69	12	116	132	1,541

(2) 人的被害

ア 被害概要

死者	中等症	怪我無し	計
1名	2名	131名	134名

イ 死因

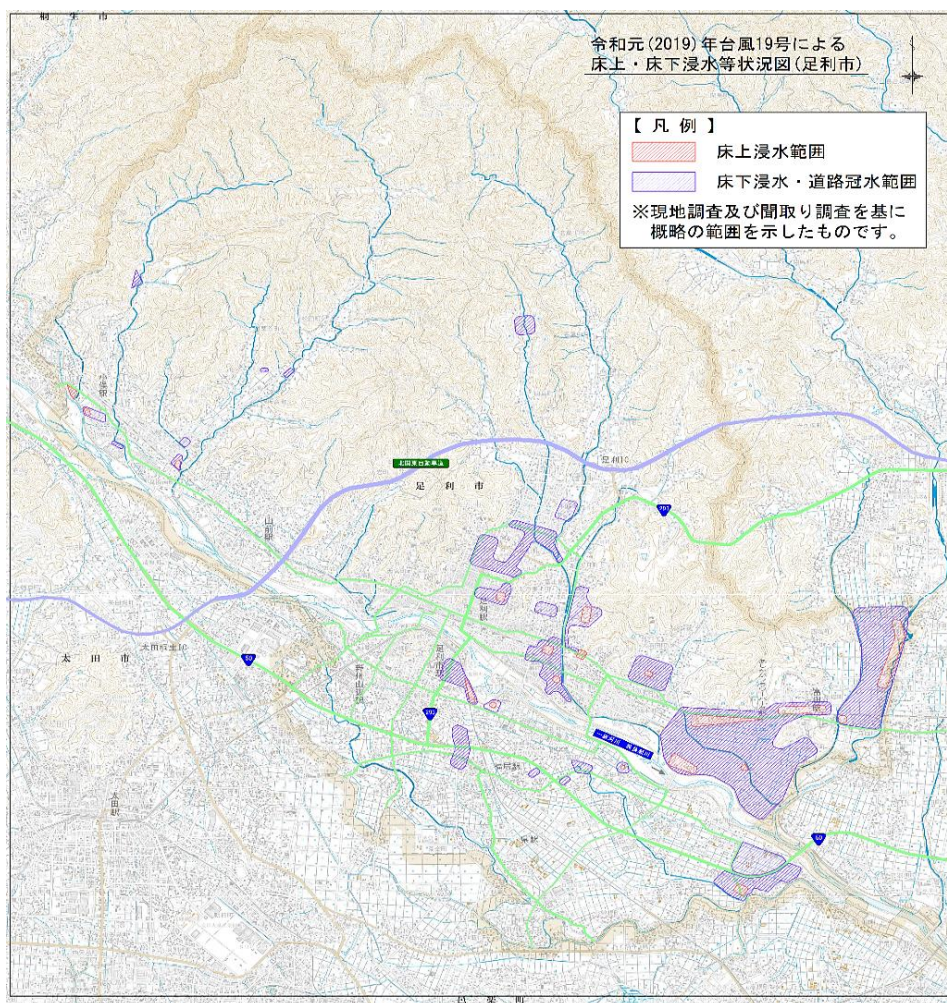
乗車していた車両が水没したため（女性80代）

(3) 家屋（建物）被害

ア 被害概要

床上浸水	462棟
床下浸水	549棟

※被害棟数は、罹災証明書の交付事務及び被災住宅の消毒事務において確認したもの



イ 全壊/大規模半壊/半壊/一部損壊件数（罹災証明書交付件数）

被害分類		件数
全壊		0件
大規模半壊		62件
半壊		371件
一部損壊	準半壊	8件
	10%未満	404件
合計		845件

(4) 土砂災害

ア 被害概要

市に通報等があった土砂災害又は崖崩れの被害箇所 51か所

市内の主な被害箇所

受信日時		町名
10月12日	21:45	月谷町
	23:30	西宮町
	23:48	助戸大橋町
10月13日	6:25	名草下町
	8:25	松田町
	10:38	大岩町
	10:50	樺崎町
	12:00	小俣町
	17:15	板倉町
10月14日	15:28	本城一丁目
	17:50	松田町
10月17日	8:20	西場町



土砂災害箇所(樺崎町)



土砂災害箇所(助戸大橋町)

(5) 商工業被害

ア 被害概要



川崎町 毛野東部工業団地

イ 被害件数

277 事業所

ウ 被害金額

7,000,000 千円 ※推定（被災企業へ概算額を聞き取り）

(6) 農林業被害

ア 被害概要



農地被害(稲岡町)



小松沢溜(田島町)



林道被害(名草上町)

イ 被害金額（作物別）

（単位：千円）

種別		被害金額
農作物等	いちご	119,541
	トマト	338,928
	水稲	121,436
	その他	71,268
	小計	651,173
家畜等		1,010
施設等		501,742
合計		1,153,925



稲岡町 嶋田雅幸様提供

（7）公共施設被害

ア 被害概要

種別	庁舎	保育所	学校	その他	合計
庁舎等被害件数	1	1	2	21	25

イ 被災場所

種別	被害施設	被害状況
庁舎等	足利市役所本庁舎	地下2階電気室等雨漏り
保育所	羽刈保育所	1階乳児室の天井から水漏れ 駐輪場の屋根が損傷
学 校	三重小学校	校庭冠水、プールポンプ室・プール更衣室浸水
	富田小学校	校庭冠水、プールポンプ室・プール更衣室・体育器具庫浸水
その他	旧足利西高等学校	倒木2件、雨どい破損
	毛野東部工業団地内マンホールポンプ	冠水
	市民体育館	アリーナ雨漏り
	渡良瀬運動場	全域冠水、グラウンド全面土砂ガレキ等堆積、グラウンド全面損壊、バックネット・ベンチ屋根倒壊、テニスコート汚損、防球ネット倒壊、水栓柱破損
	陸上競技場	1階事務室等諸室床上浸水、電話等配線・パソコンサーバー・給水ポンプ・散水ポンプ・計時計測機器・ナイター用変電設備等の故障
	硬式野球場	本部室等諸室・倉庫等床上浸水
	市民武道館	弓道場床下浸水、弓道用具庫床上浸水
	体育センター	雨漏り
	御厨テニスコート	クラブハウス雨漏り、警備システム故障
	毛野体育館	玄関雨漏り
	西部多目的運動場	ナイター設備・防球ネット支柱等の周囲陥没
	市民会館	大ホール地下浸水。空調設備、大迫故障
	史跡樺崎寺跡	園池堤防越水による、土手の崩落及び南側道路土砂流出。樺崎八幡宮本殿裏の斜面崩落による倒木
東部クリーンセンター	玄関雨漏り	

種別	被害施設	被害状況
その他	斎場	火葬棟、待合室雨漏り
	行政サービスセンター	書類保管庫浸水
	渡良瀬ゴルフ場	1～9 番ホール冠水、防球ネット倒壊。被雷時避難小屋流出
	川崎練習場	冠水
	渡良瀬河川緑地	冠水
	宮北児童公園	冠水
	毛野東部工業団地南公園	冠水



川崎町 東分署北側駐車場



東分署車庫内



東分署仮眠室



東分署食堂

(8) 上水道・下水道施設被害

ア 被害概要

種別	上下水道
被害件数	7

イ 被害状況

種別	被害施設	場所	被害状況
上下水道	工業用水道 常見水源 井戸水位計	常見町	構内へ濁水が浸入し、水位計が水没した修理不能な故障
	工業用水道 常見水源 水質測定計器	常見町	構内へ濁水が浸入し、水質測定計器が水没した修理不能な故障
	下水道マンホール ポンプ制御盤	大久保町	浸水により制御盤の故障 (3基)
	下水道マンホール ポンプ制御盤	田中町	浸水により制御盤の一部故障 (1基)
	下水道マンホール 周辺部舗装	鵜木町	マンホール周辺部の舗装沈下による通行支障
	下水道管路施設	寺岡町	土砂等の堆積により管渠の排水不良が発生
	下水道雨水放水路	千歳町	土砂等の堆積により流水不良が発生



10月13日昼頃の毛野地区(大久保町、川崎町)の様子

(9) その他被害

ア 被害概要

ハイキングコース

コース名	被害状況
歴史のまちを望むみちコース	<ul style="list-style-type: none">・ 行道山浄因寺モノレール運行休止・ 浄因寺階段にて落石・ 登り口手前で土砂崩れ・ 月谷行道線にてアスファルトのずれ・ 行道山浄因寺へ向かう道路が土砂崩れ・ 両崖山山頂付近で倒木
山なみのみちコース	登山口（行道山浄因寺及び名草巨石群から）崩れ
石尊山・深高山コース	猪子トンネル登山口～猪子峠で一部欠落
仙人ヶ岳コース	熊の分岐～岩切登山口で一部欠落



石尊山・深高山コース倒木



仙人ヶ岳コース欠落箇所

4 復旧・復興対応

(1) 災害ボランティア等の支援

ア 災害ボランティアセンターの運営状況

令和元年 10 月 14 日（月）に社会福祉協議会を通じて災害ボランティアセンターを設置して 12 月 27 日（金）まで対応した。

日付	開設状況
令和元年 10 月 14 日	第一回運営会議を開催 足利市災害ボランティアセンターを設置
10 月 15 日	災害ボランティアの受入れを開始
11 月 7 日	第 2 回運営会議を開催
11 月 11 日	運営体制を週末型（土曜日）に変更
12 月 10 日	第 3 回運営会議を開催
12 月 27 日	足利市災害ボランティアセンター閉所 足利市被災者支援ボランティアセンター設置
令和 2 年 3 月 31 日	足利市被災者支援ボランティアセンター閉所

イ ボランティア参加者数

総数 延べ 1,812 名

(2) 公的機関からの支援

機関名	支援内容
国土交通省	近畿地方整備局から緊急災害対策派遣隊として職員 4 名が派遣（15 日～17 日）
環境省	災害廃棄物への対策支援のため環境省職員が派遣（15 日）2 名、（21 日）1 名
自衛隊	救助、ごみの撤去、汚泥等の搬出に自衛隊が派遣（13 日～29 日）常備自衛官 10 名、即応予備自衛官 10 名
栃木県	栃木県マネジメント総括支援員が派遣（15 日～18 日）1 名 災害復旧技術アドバイザーが派遣（16 日）1 名 緊急対策要員が派遣（12 日～17 日）2 名、（18 日～20 日）1 名

機関名	支援内容
野木町	職員及び市民ボランティアが派遣（16日）職員5名・市民2名（17日）職員4名・市民2名、（18日）職員3名・市民2名
神奈川県横浜市	被災市区町村応援職員確保システムに基づき職員が派遣（16日～21日）3名
神奈川県鎌倉市	応援協定に基づき職員及び市民ボランティアが派遣（17日～21日）職員12名、（20日）ボランティア41名、（26日）ボランティア23名、（27日）ボランティア32名



自衛隊の活動

（3）寄附金・義援金の受け入れ

ア ふるさと足利応援寄附金

件数	寄附受入額
653 件	18,053,960 円 鎌倉市代理寄附受付分含む

イ 足利市災害義援金

内訳	受入額
足利市災害義援金	20,284,352 円
栃木県災害義援金	153,180,830 円

(4) 災害ごみの受入れ

ア 災害ごみの発生量（最終）

	種別	発生量(トン)
発生量	可燃物	2,586
	畳	66
	家電	50
	不燃物	1,455
合計		4,157

イ 仮置場の設置

被災地内に一次仮置場を、足利市農業研修センターグラウンドに二次仮置場を設置した。



一次仮置場（小俣町）



一次仮置場（朝倉町）



一次仮置場（助戸1丁目）



一次仮置場（常盤町）



一次仮置場（大月町）



一次仮置場（川崎町）



一次仮置場（川崎町）



一次仮置場（大久保町）



一次仮置場（大久保町）



一次仮置場（大久保町）



一次仮置場（奥戸町）



一次仮置場（迫間町）



一次仮置場（駒場町）



一次仮置場（稲岡町）



一次仮置場（寺岡町）



二次仮置場（農業研修センターグラウンド）

(5) 災害ごみの処理状況

ア 初期対応

自治会の要請に基づき、床上浸水等により緊急に支援を求める方を対象として、市職員、災害ボランティア、各種団体等により、災害ごみの搬出、運搬及び汚泥の除去等の対応を行った。

収集運搬に協力 いただいた各種 団体等	足利市建設業協力会
	足利市一般廃棄物収集運搬受託事業者
	協同組合足利市電設協力会
	足利市上下水道設備事業協同組合
	栃木県トラック協会足利支部
	足利市緑地建設協力会

イ 災害ごみの受入れ

10月14日（月・祝）から11月8日（金）までは、農業研修センターグラウンドで、11月9日（土）以降は南部クリーンセンターで災害ごみの受入れを実施した。

ウ 災害ごみの処理

全ての災害ごみを本市で処理することが困難だったため、可燃ごみについては、本市で処理するほか、両毛六市による「大規模災害における相互応援に関する協定」に基づき、桐生市に焼却処理を依頼し、11月11日（月）から翌年5月15日（金）までの間、合計1,485トンを搬入した。また、不燃ごみ等については、市内外の民間事業者処理を依頼した。

最終的に、令和2年7月末に全ての災害ごみの処理が完了した。

処理量 (トン)	令和元年11月末	1,000
	令和元年12月末	1,408
	令和2年1月末	1,690
	令和2年2月末	1,961
	令和2年3月末	2,361
	令和2年4月末	2,753
	令和2年5月末	3,011
	令和2年6月末	3,533
	令和2年7月末(完了)	4,157

(6) 災害相談・支援窓口の対応

ア 市民相談窓口の設置

被災された方を対象として、市民相談窓口を設置した。

設置場所	市民ホール
受付期間	令和元年10月19日(土)～31日(木)
受付時間	午前8時30分から午後5時00分まで
相談件数	325件

(7) 支援制度

ア 企業支援

・被災証明書の発行

被災に伴い、災害復旧関連融資及び国や県の給付金を申請する際に必要となる被災証明を発行した。

対象	市内に被災物を有する事業者
発行件数	291件

・足利市緊急特別融資制度

被害を受けた中小企業者の事業復興のため、足利市中小企業融資制度に被災者向け緊急特別融資制度を創設した。

災害対策特別資金	
件数	8件
融資総額	78,500,000円
制度参考情報	限度額2,000万円、期間7年以内、利率1.2%（借入完済後に全額利子補給）、返済方法 割賦元金均等償還（据置1年以内）、保証料全額補助

特別短期資金	
件数	1 件
融資総額	4,000,000 円
制度参考情報	限度額 400 万円、期間 1 年以内、利率 1.4% (借入完済後に全額利子補給)、返済方法 一括返済又は割賦元金均等償還(据置 6 ヶ 月以内)、保証料全額補助

・ 中小企業等復旧支援制度

中小企業者等復旧支援補助金	
件数	37 件
補助総額	12,680,000 円
制度参考情報	事業用設備(車両含む)の修繕・更新費用 の 20%で上限 300 万円まで補助

イ 住民支援

・ り災証明書等交付状況

令和元年 10 月 15 日(火)から受付開始、順次現地調査を行い、状況を確認
次第交付しました。11 月 1 日(金)からは自動車等の被災証明書を交付しまし
た。

り災証明書	受付件数：845 件 交付件数：845 件
災害被害確認書	受付件数：34 件 交付件数：34 件
被災証明書	受付件数：746 件 交付件数：746 件

・ 被災者支援制度等

災害見舞金	
件数	805 件
総額	90,260,000 円
備考	住家が被災された世帯の世帯主に対し、 災害見舞金を支給するもの。

自動車購入等の補助金	
件数	552 件 (759 台)
総額	62,751,000 円
備考	被災した自動車の購入または修繕に必要な 経費の一部を補助するもの。

災害弔慰金	
件数	1 件
総額	2,500,000 円
備考	足利市災害弔慰金の支給等に関する条例により支給

災害援護資金貸付	
件数	4 件 (半壊)
総額	5,500,000 円
備考	災害により被害を受けた世帯主に対して、生活の更生のために貸し付けを行った。 償還期間 10 年以内、利率 1.5% (保証人有的場合無利子)、返済方法割賦元利均等償還 (据置 3 年)

被災者生活再建支援金	
件数	基礎支援金 66 件 加算支援金 53 件
総額	87,750,000 円
備考	被災により居住する住宅の全壊等、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対して、生活の再建を支援するための支援金を支給するもの。

保健師等による家庭訪問	
訪問世帯数	1,802 世帯
備考	被災された家庭を保健師等が訪問し、健康状態の確認や健康相談のお知らせ、感染症予防のパンフレットの配布等を行った。 また、地域包括支援センター職員等が、ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を訪問し、健康状態や生活支援の相談を行った。 訪問期間：令和元年 10 月 28 日 (月) から 11 月 19 日 (火)

入浴支援	
利用者数	873 名
備考	被災により自宅の風呂が利用できない方に東幸楽荘の入浴施設を無料で開放。

水道料金・下水道等使用料の減免	
147 件	
513,320 円	
被災された方に対して、後片付け等に使用した水道料金・下水道等使用料を減免するもの。	

・住宅支援制度

市営住宅への入居	
件数	32 件
備考	住宅が浸水等の被害を受け、り災証明書の交付を受けた方に対して、緊急的に市営住宅の入居を受け付けるもの。家賃は減免。

住宅の応急修理	
件数	271 件
総額	151,973,711 円
備考	住宅が大規模半壊又は半壊等の被害を受けたため、応急的に修理をする場合、修理費用の一部を補助するもの。(国の制度)

浸水被害を受けた住宅の消毒	
件数	808 件 (床上：341 件 床下：467 件)

ウ 農業支援

・補助金の活用支援

農作物等へ被害を受けた農業者の営農再開等の為に必要な補助金を交付した。

栽培環境整備に必要な経費に対する補助	
戸数（延べ）	42 戸
対象	稲わら撤去、土づくり、営農再開の為に作業委託や農業機械レンタル等
総事業費	10,022,603 円（国、市負担分）

保管米が浸水被害を受けた農業者に対する補助	
戸数（延べ）	11 戸
対象	土づくり、資材購入費等
総事業費	2,520,426 円（国、県、市負担分）

生産を維持増進する為の作業等に対する補助	
戸数（延べ）	46 戸
対象	農薬・肥料・種苗購入費、被害作物の片付け作業等
総事業費	8,230,842 円（県、市負担分）

公共災害復旧事業の対象外となった農地復旧に対する補助	
戸数（延べ）	1 戸
対象	圃場に流入した土砂や稲わら等の撤去費用
総事業費	289,300 円（市負担分）

営農再開に必要な施設等の修繕等に対する補助（継続中）	
戸数（延べ）	55 戸（未確定）
対象	ハウス、農機具、倉庫等
総事業費	206,714,000 円（国、県、市負担分）
備考	第1四半期（令和2年6月末）現在

5 自治会アンケート調査結果

東日本台風の被害の有無及びその後の自治会(自主防災会)の災害対応について、自治会長宛にアンケート調査を実施しました。

提出をいただいた自治会数：168(自治会数 222、回収率 75.7%)

(1) 被害の有無

あなたの自治会において台風第 19 号の被害はありましたか。

・あった：75 ・なかった：93

地区別

ブロック	地区	自治会数	あった	なかった	未回答
中 央	西校	10	1	5	4
	柳原	13	3	6	4
	東校	11	0	7	4
	相生	8	2	2	4
	助戸	8	4	4	0
	千歳	10	5	1	4
	大橋	4	1	2	1
東 北	毛野	25	6	10	9
	北郷	11	8	2	1
	名草	3	3	0	0
	富田	7	6	0	1
西	三重	12	5	6	1
	山前	17	4	10	3
	三和	8	5	1	2
	葉鹿	6	2	3	1
	小俣	12	3	3	6
南	矢場川	7	2	5	0
	山辺	22	3	15	4
	御厨	11	3	6	2
	筑波	4	1	3	0
	久野	6	4	1	1
	梁田	7	4	1	2
合計		222	75	93	54

(2) 被害の種類

どのような被害がありましたか。(複数回答可)

- ・住家の被害 : 39 ・非住家の被害 : 14
- ・自動車の被害 : 26 ・崖(土砂)崩れ : 13
- ・河川の氾濫 : 26 ・用水路・排水路から水が漏れる : 58
- ・道路の被害 : 26 ・倒木 : 8
- ・その他 : 18

地区別

ブロック	地区	自治会数	住家被害	非住家被害	自動車被害
中央	西校	10	0	0	0
	柳原	13	0	0	0
	東校	11	0	0	0
	相生	8	1	0	0
	助戸	8	3	3	3
	千歳	10	4	1	3
	大橋	4	1	0	0
東北	毛野	25	4	3	2
	北郷	11	5	1	3
	名草	3	1	0	1
	富田	7	6	5	6
西	三重	12	2	0	0
	山前	17	0	0	0
	三和	8	2	0	0
	葉鹿	6	1	0	0
	小俣	12	1	1	1
南	矢場川	7	0	0	0
	山辺	22	2	0	1
	御厨	11	1	0	1
	筑波	4	1	0	1
	久野	6	1	0	1
	梁田	7	3	0	3
合計		222	39	14	26

地区別 つづき

ブロック	地区	自治会数	崖(土砂) 崩れ	河川氾濫	用水路等 からの 水漏れ
中 央	西校	10	1	0	1
	柳原	13	2	0	3
	東校	11	0	0	0
	相生	8	1	0	0
	助戸	8	0	0	2
	千歳	10	0	1	4
	大橋	4	0	1	1
東 北	毛野	25	0	4	5
	北郷	11	1	5	7
	名草	3	2	1	3
	富田	7	0	4	5
西	三重	12	2	3	3
	山前	17	1	0	1
	三和	8	2	2	4
	葉鹿	6	0	1	1
	小俣	12	1	0	3
南	矢場川	7	0	0	2
	山辺	22	0	0	4
	御厨	11	0	1	2
	筑波	4	0	0	1
	久野	6	0	2	4
	梁田	7	0	1	2
合計		222	13	26	58

地区別 つづき

ブロック	地区	自治会数	道路被害	倒木	その他
中 央	西校	10	0	1	0
	柳原	13	0	1	0
	東校	11	0	0	0
	相生	8	0	1	0
	助戸	8	1	0	1
	千歳	10	3	0	1
	大橋	4	0	0	0
東 北	毛野	25	2	0	2
	北郷	11	3	0	3
	名草	3	2	1	1
	富田	7	5	2	4
西	三重	12	1	0	0
	山前	17	0	0	1
	三和	8	2	2	2
	葉鹿	6	2	0	0
	小俣	12	2	0	0
南	矢場川	7	0	0	0
	山辺	22	0	0	1
	御厨	11	0	0	1
	筑波	4	0	0	0
	久野	6	2	0	0
	梁田	7	1	0	1
合計		222	26	8	18

(3) 避難情報の入手手段

市からの避難情報はどのような手段で確認されましたか。(複数回答可)

- ・テレビ : 89 ・ラジオ : 18
- ・消防・防災情報メール : 79 ・緊急速報メール : 54
- ・市ホームページ等 : 23 ・防災アプリ : 9
- ・知人からの連絡 : 35 ・その他 : 36

地区別

ブロック	地区	自治 会数	テレビ	ラジオ	消防 メール	緊急 速報 メール
中 央	西校	10	2	0	3	2
	柳原	13	4	0	5	2
	東校	11	3	1	2	1
	相生	8	2	0	2	2
	助戸	8	4	2	2	3
	千歳	10	2	0	4	2
	大橋	4	2	0	2	0
東 北	毛野	25	9	2	7	7
	北郷	11	7	2	4	4
	名草	3	2	1	1	1
	富田	7	2	2	1	0
西	三重	12	6	1	5	3
	山前	17	5	1	8	5
	三和	8	3	0	2	3
	葉鹿	6	4	0	1	3
	小俣	12	4	1	3	2
南	矢場川	7	5	1	5	3
	山辺	22	9	3	9	3
	御厨	11	6	0	7	3
	筑波	4	3	0	2	2
	久野	6	2	0	1	1
	梁田	7	3	1	3	2
合計		222	89	18	79	54

地区別 つづき

ブロック	地区	自治 会数	市 ホーム ページ	防災 アプリ	知人 から 連絡	その他
中 央	西校	10	1	0	3	2
	柳原	13	2	0	1	1
	東校	11	1	0	1	1
	相生	8	1	1	1	0
	助戸	8	0	0	2	2
	千歳	10	2	1	1	1
	大橋	4	1	0	1	0
東 北	毛野	25	0	1	3	2
	北郷	11	1	0	5	5
	名草	3	0	0	0	0
	富田	7	0	0	2	5
西	三重	12	3	0	0	4
	山前	17	2	2	1	1
	三和	8	1	0	1	0
	葉鹿	6	1	0	2	2
	小俣	12	0	0	2	1
南	矢場川	7	3	1	1	2
	山辺	22	2	1	5	1
	御厨	11	1	1	1	3
	筑波	4	0	0	0	1
	久野	6	0	0	2	1
	梁田	7	1	1	0	1
合計		222	23	9	35	36

(4) 緊急時の連絡体制

緊急時の自治会内の連絡体制（手段）があればお教えてください。

- ・連絡網作成済み : 39
- ・役員連絡網作成済み : 34
- ・未作成（検討中含む） : 95

地区別

ブロック	地区	自治会数	連絡網作成済	役員連絡網作成済	未作成
中央	西校	10	2	2	2
	柳原	13	4	1	4
	東校	11	1	0	6
	相生	8	2	0	2
	助戸	8	1	1	6
	千歳	10	2	0	4
	大橋	4	1	1	1
東北	毛野	25	2	4	10
	北郷	11	1	3	6
	名草	3	0	1	2
	富田	7	3	1	2
西	三重	12	3	3	5
	山前	17	0	0	14
	三和	8	1	1	4
	葉鹿	6	2	2	1
	小俣	12	1	2	3
南	矢場川	7	3	4	0
	山辺	22	6	3	9
	御厨	11	3	2	4
	筑波	4	1	0	3
	久野	6	0	1	4
	梁田	7	0	2	3
合計		222	39	34	95

(5) 今後の連絡網等の作成

連絡体制（手段）が無い場合、今後、連絡網等を作成することは可能ですか。

・可能：83 ・不可能：3 ・どちらとも言えない：45

地区別

ブロック	地区	自治 会数	可能	不可能	どちらとも いえない
中 央	西校	10	2	0	2
	柳原	13	4	0	1
	東校	11	4	0	2
	相生	8	1	0	1
	助戸	8	3	0	4
	千歳	10	3	0	3
	大橋	4	2	0	0
東 北	毛野	25	7	1	7
	北郷	11	7	0	2
	名草	3	2	0	1
	富田	7	3	0	0
西	三重	12	7	0	1
	山前	17	6	1	7
	三和	8	3	0	2
	葉鹿	6	3	0	0
	小俣	12	4	0	1
南	矢場川	7	4	0	0
	山辺	22	8	1	3
	御厨	11	3	0	2
	筑波	4	2	0	1
	久野	6	3	0	2
	梁田	7	2	0	3
合計		222	83	3	45

(6) 一時避難場所の変更や追加

台風水害を踏まえて、現在自治会で指定している一時避難場所の変更や追加（水害、地震等の災害種別によって分けて指定する）の予定はありますか。

・予定あり（変更済み）：57 ・予定なし：111

地区別

ブロック	地区	自治 会数	予定あり	予定なし
中 央	西校	10	1	5
	柳原	13	2	7
	東校	11	1	6
	相生	8	0	4
	助戸	8	4	4
	千歳	10	1	5
	大橋	4	0	3
東 北	毛野	25	6	10
	北郷	11	5	5
	名草	3	1	2
	富田	7	3	3
西	三重	12	5	6
	山前	17	2	12
	三和	8	3	3
	葉鹿	6	3	2
	小俣	12	4	2
南	矢場川	7	2	5
	山辺	22	5	13
	御厨	11	3	6
	筑波	4	2	2
	久野	6	3	2
	梁田	7	1	4
合計		222	57	111

6 検証及び改善策の実施

市では、東日本台風における災害対応について、市地域防災計画に基づく災害対策本部の班単位で課題を抽出し、検証を実施したうえで、改善策の実施時期を「短期」、「中期」、「長期」に分類し取り組んでいます。

(1) 改善策の実施時期

短期：令和2(2020)年5月まで

中期：令和3(2021)年3月まで

長期：令和5(2023)年3月まで

改善に合わせ、市地域防災計画の内容修正を行います。

(2) 主な検証項目

課題項目		改善策	実施時期
ア	初動体制の強化	危機管理課の体制を強化するほか、43名の職員に対し危機管理課を兼務する辞令を発令し、任命された職員がそれぞれの役割を迅速かつ適切に対応することで初動体制を充実させます。	短期
		災害対策本部の開設・運営マニュアルを策定するとともに、テレビやパソコン等の情報機器を配備し、情報を共有しやすい環境を整備します。	中期
イ	災害の状況に応じた情報等の迅速な発信	市ホームページサーバーの増強を行い、処理能力の向上を図るとともに、市民によるツイッター等のSNSの活用を促進し、複数の情報ツールを活用した情報発信を行います。	短期～
		スマートフォンや携帯電話をお持ちでない方にも情報が届くよう、地域コミュニティを活用した地域連絡網の構築を支援します。	短期
ウ	河川等の情報伝達	河川等の管理者である国・県・市の三者で、洪水に係る情報を共有するための体制を整備するとともに、避難に係る情報を地域の皆様へ的確に伝達する訓練を実施します。	短期
		水門の閉鎖操作の情報を、地域の皆様に直接伝えることのできる防災装置を朝倉樋管に設置します。その他の水門に係る防災装置の設置についても、管理者である国に対し、要望していきます。	短期～

課題項目		改善策	実施時期
エ	迅速な指定避難所の開設、運営	指定避難所の鍵を避難所の近くに住む市職員や地域の方が管理するほか、各公民館でも管理することとします。	短期
		指定避難所開設後、従事する職員が避難者に対し適切に対応できるよう、避難所運営マニュアルを整備します。	中期
オ	避難所の増設、環境改善	有事の際に、地域の皆様が緊急避難場所として利用できるよう、適切な民間施設や大学等の学校施設活用について、施設側と協議を行います。	短期～
		指定避難所で避難生活をするのが困難な方を支援するため、ケアのできる人材やバリアフリーが整った福祉施設等を福祉避難所として指定することについて検討します。	短期～
		避難所における感染症予防対策では、避難者に対し、マスク着用、手洗い、アルコール消毒や検温を徹底していくほか、避難者相互のスペースの確保に努めます。	短期
		足利市医師会等との連絡体制を構築するとともに、医療ニーズに沿った対応を的確かつ迅速に実施するため、県における現地災害医療対策本部との連携を強化します。	短期～
カ	地域防災力の向上	特に被害が大きかった本市東部地区については、出水期までに暫定版ハザードマップを作成し、当該地域の各世帯に配布するほか、地域の公民館や自治会館等に掲示します。	短期
		地区合同防災訓練においては、各地域の災害リスクを考慮し、気象状況や河川水位の変化等様々な状況を想定した実践的訓練を、地元の皆様と協議の上、実施します。	中期
キ	災害ボランティアセンターの運営支援	被災者のニーズに対して迅速に対応するため、災害ボランティアセンターと連携を密にし、相互に支援情報の共有を図り、対応にあたります。	短期
		災害ボランティア活動に必要な機材の確保について、災害時応援協定を締結している関係団体と連携し、対応にあたります。さらに、災害ごみ等の搬出用運搬車両の燃料提供について関係機関と協議します。	中期

ク	災害廃棄物	災害廃棄物の仮置場について、設営準備、運営ルール等の事項を整理します。	短期
		自治会が仮置場を設置した際の管理ルール、自治会内の周知方法、処理困難物の明示等の事項を整理します。	短期

(3) 令和2年度に実施した主な改善策

ア 暫定版足利市洪水ハザードマップ 毛野・富田地区

旗川からの浸水により特に甚大な被害が発生し、犠牲者が出た富田地区については、平成25年に作成した現行のハザードマップにおいて、洪水浸水想定区域が示されていませんでした。

そこで市では、地域住民に対する注意喚起が十分でなかったという反省に立ち、浸水被害が特に大きかった毛野・富田地区に関する暫定版ハザードマップを作成することとし、令和2年6月に両地区へ配布しました。

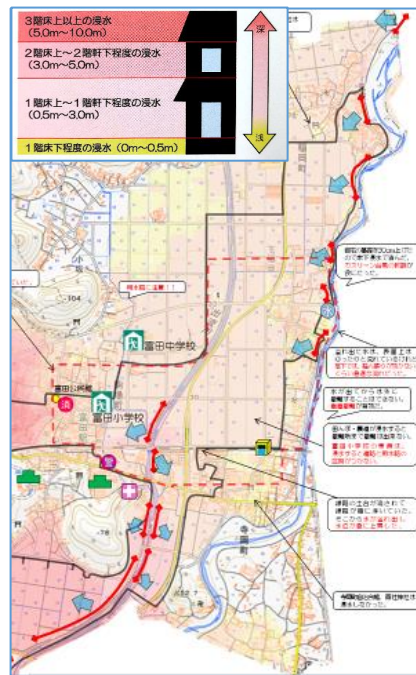
このハザードマップでは、令和2年4月に栃木県が公表した旗川の洪水浸水想定区域を示したほか、両地区の皆様から聞き取りした東日本台風での浸水の実態や地域の危険箇所、避難場所として適した場所等について、可能な限り地図上に反映しました。

なお、令和3年度には、全市域版のハザードマップを新たに作成する計画です。

<現行ハザードマップ>



《暫定版ハザードマップ》



イ 地域連絡網

東日本台風の対応において、地域住民への迅速な情報伝達が課題となりました。地域の連絡網については、既に作成している自治会もありますが、携帯電話等をお持ちでない高齢者等まで確実に情報を伝える手段の一つとして、改めて、各自主防災会長(各自治会長)に対し地域連絡網の作成をお願いしています。なお、これまで地域連絡網作成の説明を実施した地区は19地区です。

ウ 災害時の連携協定等

東日本台風の避難にあたって、指定避難所が近くにないことや、自家用車で避難ができないとの意見が多く寄せられたことから、市が民間施設と災害時の施設利用についての連携協定を締結しました。

また、地域(自治会等)が民間施設と災害時の施設利用についての連携協定を締結するにあたりその支援等を行いました。

・東日本台風水害以降の市と企業等との協定締結状況

締結日	締結内容	締結先
令和2年 2月28日	災害時の市民等の緊急避難場所の提供に関する事	学校法人足利大学
3月26日	市民等の防災力向上のための啓発事業に関する事	損害保険ジャパン日本興亜株式会社
6月1日	災害時の市民等の避難場所の提供に関する事	株式会社デベロップ
9月16日	相互の情報連携に関する事	東京電力パワーグリッド株式会社栃木南支社
9月16日	洪水発生時等の施設提供に関する事	株式会社LIXILビバ
10月15日	災害時における廃棄物の収集運搬の支援に関する事	足利市一般廃棄物収集運搬受託事業者連絡協議会

・東日本台風水害以降の市と自治会との協定締結状況

令和2年 9月17日	災害時の自主避難所として公民館を使用すること	梁田地区自治会長連合会
---------------	------------------------	-------------

エ 情報伝達訓練

地域住民への迅速な情報伝達が課題となったことから、令和2年度から新たに配置された43名の危機管理課兼務職員を情報収集・発信等に業務に配備し、各連合自治会長及び国県等の関係機関にご参加をいただき、令和元年東日本台風規模の風水害を想定した情報伝達訓練を実施しました。

・風水害時における情報伝達訓練

開催日時	会場
6月27日(土) 10時00分～11時30分	市本庁舎4階

地区連合自治会参加数	19地区
------------	------

・参加関係機関

- ・国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所
- ・陸上自衛隊 第12特科隊
- ・栃木県 安足土木事務所
- ・栃木県警察 ・足利警察署
- ・足利市建設業協力会
- ・足利市内工業団地関係者



水位情報等の情報収集



ホワイトボードへ警報等を記録

オ 避難所開設・運営訓練

災害時に避難所を迅速に開設することができるように、市地域防災計画に定める緊急地区隊の役割を明確にし、職員 222 名、教職員 88 名を各指定避難所へ配備しました。

また、新型コロナウイルス感染症が収束していない状況下で避難所を開設する場合に備え、避難者の受入れにあたり感染症対策の確認等を行いました。

・緊急地区隊業務説明会

開催日時	回数
8月4日(火)から7日(金)までの期間	7回

・コロナ禍における避難所開設・運営訓練

開催日時	会場	参加人数
8月19日(金) 14:00~16:15	けやき小学校	112名



避難スペースの確認



間仕切り用テントの設置

(4) 中橋の架替えについて

令和2年7月31日、国土交通省関東地方整備局河川部長、栃木県県土整備部長、足利市長の三者で組織されている「渡良瀬川中橋架替に関する連絡協議会」が開催され、中橋架替のイメージ図を公表しました。

中橋付近の堤防は周辺より低く切り込んでいるため、以前から浸水被害の危険性が指摘されており、重要水防箇所に位置付けられていました。

また、令和元年東日本台風の際には、渡良瀬川の水位が上昇するとともに、草木ダムの緊急放流の情報があったため、切り込んだ堤防に大型土のうを設置し、浸水被害の防止に努めました。

このような中、一日も早い堤防の嵩上げ、それに伴う中橋の架替えを実現するため、国・県・市の三者で組織された「中橋整備検討委員会」で課題の整理や整備方針等を協議してきました。この結果を受け、協議会による整備方針が次のとおり決定されました。

<整備方針>

- ① 中橋付近の堤防を嵩上げする。
- ② 嵩上げに伴い、中橋を架け替える。
- ③ 架け替えに際し、現中橋の三連アーチを下流側にスライドし、歩行者・自転車の通行空間として再利用する。
- ④ 三連アーチの上流側に、車道を中心とした新しい橋を設置する。

以上の四点を確認・合意しました。

これらにより、「災害に強い安全・安心なまち足利」の実現に、大きな一歩を踏み出すことができ、この中橋架替事業を、新しいまちづくりのツールとして捉え、本市中心部の活性化につなげていきたいと考えています。



中橋架替イメージ写真

7 参考資料

(1) 災害復旧関連事業費

復旧・復興事業費について主なものを抜粋し一覧にしました。

第 15 款 総 務 費			
事業名	令和元年度 事業費 (千円)	令和2年度 繰越額 (千円)	事 業 内 容
非常食備蓄事業費	1,430	-	非常用備蓄米、非常用保存水購入費
職員手当等	67,971	-	職員時間外手当等
緊急災害対策経費	6,705	-	水防活動に関する業務委託料等
ハザードマップ改訂事業費	-	903	毛野・富田地区 暫定版洪水ハザードマップの作成費
第 20 款 民 生 費			
老人福祉施設整備費補助金	5,589	-	設備経費補助
非常用備蓄経費	1,332	-	災害時用毛布の梱包委託料等
避難所開設等経費	162	-	研修センター宿泊料等
被災者生活物資給付事業費	5,874	-	生活必需品等の受注及び手配業務委託料等
災害見舞金等	95,630	14,660	被災者及び被災自治会への見舞金等
被災住宅応急修理助成金	123,071	144,551	住宅が大規模半壊又は半壊等の被害を受けた方に応急修理費用を助成
自動車購入等補助	57,439	82,764	被災者への自動車の購入費等補助

第 25 款 衛 生 費			
事業名	令和元年度 事業費 (千円)	令和 2 年度 繰越額 (千円)	事 業 内 容
感染症予防対策費	29,670	-	浸水した家屋の消毒委託料
災害廃棄物等処理事業費	78,558	186,696	災害廃棄物の処理費用
第 35 款 農林水産業費			
持続的生産強化対策事業費	10,023	-	被害者への営農再開や栽培環境整備に必要な資材等の購入、稲わらの撤去等への補助
被災農家営農再開緊急対策事業費	2,520	-	保管米が浸水被害を受けた農業者に対し、営農再開のための土づくりや資材購入等の取組への補助
農漁業災害対策特別事業費	8,231	-	営農再開に必要な農薬・肥料・稲苗の購入、被害農作物の片付けへの補助
強い農業・担い手づくり総合支援事業費(被災農業者支援型)	-	211,503	被災した農業者の営農再開に必要な施設並びにその附帯施設の再建・修繕、農業用機械及び生産した農産物の加工に必要な機械の取得・修繕に対する補助
第 40 款 商 工 費			
融資対策費(再掲)	82,887	-	緊急特別融資制度「災害対策特別資金」創設、「特別短期資金」限度額増額
被災企業支援事業費	644	-	事業所の消毒に必要な消毒液の配布
被災企業復旧支援補助金	5,688	54,000	被災した企業等の事業再開に必要な事業用設備(車両含む)の修繕・更新費用に対する補助
第 50 款 消 防 費			
消防施設補修費	116	-	浄化槽ポンプ故障修理
非常備消防活動費	1,310	-	団本部 3 名、分団員延 6 4 1 名出動旅費

第 55 款 教 育 費			
事業名	令和元年度 事業費 (千円)	令和 2 年度 繰越額 (千円)	事 業 内 容
就学援助費	1,380	-	被災児童生徒への学用品費、学校給食費の補助
校具教材備品整備費(単独)	468	-	富田小の備品・消耗品の購入
校舎等維持補修費(単独)	1,307	-	三重小及び山辺小の校庭整備等
施設補修費(単独)	622	-	総合運動場陸上競技場給水管接続修繕 渡良瀬運動場テニスコート水道管破損修繕
第 60 款 災害復旧費			
農業用施設災害復旧事業費(継続中)	31,121	98,487	農業用施設災害復旧事業等 原材料支給、浚渫事業への補助
林道施設災害復旧事業費	5,869	1,125	林道災害復旧事業(路盤工)補助金等 入山線、栗谷松田線、野山線ほか
農地災害復旧事業費(継続中)	17,291	104,078	農地災害復旧工事等 農地流入土砂撤去等への補助
産業団地災害復旧事業費	4,818	-	毛野東部北地区ポンプ制御盤復旧費
道路災害復旧事業費	17,349	26,060	市道災害復旧工事等 市道稲岡町19号線ほか
橋りょう災害復旧事業費	3,894	-	市道橋応急工事等 木ノ下橋ほか
急傾斜地災害復旧事業費	4,748	190,112	急傾斜地災害復旧工事等 助戸大橋町、樺崎町ほか
道路管理車両災害復旧事業費	2,070	-	車両2台

第 60 款 災害復旧費(つづき)			
事業名	令和元年度 事業費 (千円)	令和 2 年度 繰越額 (千円)	事業内容
河川災害復旧 事業費	102,168	76,512	河川災害復旧工事等 普通河川袋川支川ほか
公園災害復旧 事業費	30,308	-	公園災害復旧事業 岩井分水路緑地、朝倉・福富緑地ほか
学校施設災害 復旧単独事業 費	550	-	富田小プールろ過ポンプ修繕
市民会館災害 復旧単独事業 費	15,695	-	大ホール冷暖房機器修繕等
樺崎寺跡災害 復旧補助事業 費	2,365	-	樺崎寺跡災害復旧
陸上競技場災 害復旧補助事 業費	7,095	-	総合運動場陸上競技場給・散水用ポンプ ユニット入替修繕
陸上競技場災 害復旧単独事 業費	1,298	-	総合運動場陸上競技場事務室等床敷き替 え修繕
渡良瀬運動場 災害復旧単独 事業費	28,500	-	渡良瀬運動場内設備復旧工事
渡良瀬運動場 災害復旧補助 事業費	3,212	-	渡良瀬運動場内災害復旧業務委託
社会体育施設 災害復旧事業 費	-	62,298	渡良瀬運動場内設備復旧工事 44,700 千 円 陸上競技場計時計測機器更新整備費 17,598 千円

第 60 款 災害復旧費(つづき)			
事業名	令和元年度 事業費 (千円)	令和 2 年度 繰越額 (千円)	事業内容
消防庁舎災害 復旧事業費	3,584	-	東分署 仮眠ベッド購入ほか
消防自動車災 害復旧事業費	512	41,000	故障車レッカー移動(R元) 車両(CD-I 型)の購入(第 2、第 10 分団 車)
消防器具災害 復旧費	169	-	トランシーバー 5 台ほか
消防自動車修 繕費(中央署)	-	5,500	中央 1 号車修理
消防自動車修 繕費(警防)	-	434	車両修繕(予防 1 号車シート修理)、 レッカー手数料
消防自動車修 繕費(河南署)	-	5,500	南 1 号車修理

工業用水道事業会計			
事業名	令和元年度 事業費 (千円)	令和 2 年度 繰越額 (千円)	事業内容
常見水源災害復 旧補助事業費	9,200	14,450	水質測定計器等復旧

公共下水道事業特別会計			
事業名	令和元年度 事業費 (千円)	令和 2 年度 繰越額 (千円)	事業内容
公共下水道災 害復旧補助事 業費	6,900	10,800	マンホールポンプ制御盤等復旧
公共下水道災 害復旧単独事 業費	2,248	-	管路施設内土砂等除去ほか

(2) 災害関連広報

台風被害からの一年間、市広報紙等において、市の対応及び改善策、市民の皆様の日頃の備えについて、広報を実施しました。

ア 市広報紙「あしかがみ」

2020年8月号

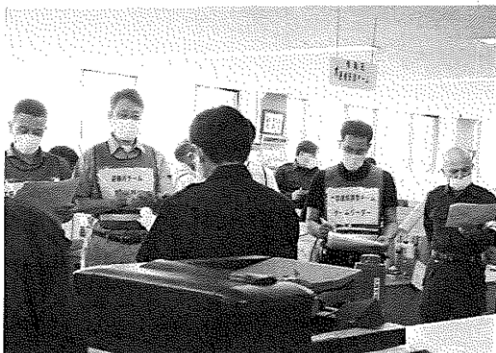
令和元年東日本台風対応の検証結果と今後の改善策

危機管理課・☎22247

昨年10月の同台風の教訓を踏まえ、課題の分析や検証を進めてきましたが、その結果を以下の8つにまとめ、改善策を整理しました。

初動体制の強化

今年度、43人の職員に危機管理課への兼務辞令を発令しました。6月27日には同職員に加え、関係機関も交えた情報伝達訓練を実施しました。



▲情報伝達訓練の様子

河川などの情報伝達

国、県、市の三者で水門の開閉操作にかかる情報を共有し、洪水の危険性が高まった場合には、水門の開閉操作の状況も含めた防災情報を、市民の皆さんに確実に発信するための連絡体制整備を進めていきます。

避難所の増設、環境改善

これまで、足利大学や民間のコンテナホテル(株)デベロップと災害時の協定を結びました。今後同様の協定締結を積極的に進めます。

災害ボランティアセンターの運営支援

被災者のニーズに迅速に対応するため、同センターと連携し、相互に支援情報を共有して対応にあたります。

また、災害時応援協定を締結している関係団体と連携し、災害ボランティア活動に必要な機材を確保します。さらに、災害ごみなどの搬出用運搬車両への燃料優先供給について関係機関と協議をしていきます。

風水害のみならず、さまざまな災害などへの対策についても、今後着実に進め、安全安心なまちづくりを進めてまいります。

状況に応じた情報などの迅速な発信

自治会の皆さんによる地域連絡網の構築を支援しています。

迅速な指定避難所の開設、運営

指定避難所の早期開設のため、指定避難所の近くに住む職員、地域住民、公民館でカギを管理する体制を整えます。

地域防災力の向上

河川からの浸水被害が特に大きかった毛野、富田地区の暫定版ハザードマップを作成し、両地区に配布しました。

同マップには、6月5日に公表された一級河川・旗川の浸水想定区域図のほか、同台風の浸水結果を表示するとともに、両地区の皆さんから寄せられた当時の体験談や地域の危険箇所などのご意見を反映させています。



災害廃棄物

災害廃棄物の仮置場の設営・運営に関するルールなどを整理します。

また、自治会が仮置場を設置した際の管理ルール、自治会内への周知方法、処理困難物の明示などを整理します。

市の 市民の 新たな防災対策と避難及び心構え

足利市危機管理課：地域防災担当提供

昨年本市を襲った令和元年東日本台風(台風第19号)は、市内に甚大な被害をもたらし、現在でもその復旧・復興活動が行われています。

今年も出水期となり、日本各地で大雨による被害が相次いでいます。さらに、台風が日本列島に上陸するシーズンとなり、昨年のように大規模な風水害が懸念されています。

ここでは、風水害や震災に対する事前の備えとして、市などで新たに取り組む防災対策や、コロナ禍における避難についてお知らせします。

1 災害への備え

市では、昨年の台風被害を経験し、その教訓を活かしていくため、市民の皆様と協力し、全庁を挙げて市の防災力強化を進めています。

1番目として、地域連絡網の再構築です。避難勧告、避難指示を迅速・的確に、地域の皆さんに伝えるため、自治会に地域連絡網の再構築をお願いしています。ホームページやメール、SNSなど伝達手段はさまざまな方法がありますが、そういった情報を得られない方も数多くいます。昔ながらの方法ですが、地域の皆様が安全を確保しつつ、地域の共助の力で早めに避難を促し、命の危険から身を守っていただくためお願いしているものです。

2番目は、指定避難所の早期開設です。昨年の水害時には、避難所の開設に課題がありました。そこで、指定避難所ごとに総勢222名による「緊急地区隊」を整備するほか、指定避難所の鍵を近くに住む地域の方や市職員が保管し、夜間・休日でも迅速に避難所を開設できる体制づくりを行いました。

また、夜間に避難することは多くの危険を伴うことから、市民が明るいうちに避難ができるよう昨年の台風を模した水害時の情報伝達訓練や避難所開設・運営訓練を実施し、台風等による大雨に備えています。

3番目は、危機管理体制の強化です。

台風第19号のさなかでは、道路冠水や人命救助などに関する1200件ほどの通報が市民や消防団からあり、情報処理等に混乱が生じました。今後そういったことが起きないように、43名の危機管理課業務職員を配備し、いざ台風が来た時にはおよそ50名の職員体制で対応することにしました。同時に、国県に情報伝達職員を派遣し、ダム放流や河川情報、水門開閉などの情報をいち早く察知できる体制としました。今後も訓練を行いながら、よりきめ細やかな災害対応ができる体制

づくりに努めていきます。

4番目は、富田・毛野地区の暫定版ハザードマップの作成です。河川の越水などで特に水の出方が激しかった富田・毛野の2地区に対し、今出水期に備え暫定版のハザードマップを作り全戸に配布しました。作成にあたり地域の方々にご協力いただき、被害の実態や声を反映した画期的なハザードマップになっています。

なお、来年度には、市内全域の新たなハザードマップを作成し、全世帯に配布する予定です。

2 コロナ禍における避難

現在、新型コロナウイルス感染症が収束しない状況が続いています。コロナ禍において災害が発生した場合の避難所における三密(密閉・密集・密接)対策が課題となっています。

そのため、市ではコロナ禍における避難所開設モデルとして、避難所対応職員を対象とした訓練を実施するとともに、開設運営マニュアルの作成、避難者受け入れ体制の確認や間仕切りなどで使用する資機材の準備を進めています。また、今までは学校の体育館が主な避難スペースでしたが、校舎内の他のスペースも使い三密を避けつつ避難者の事情に合った対応ができるよう備えています。

今後の避難にあたっては、密にならないようにということが一つ大きなポイントとなります。コロナ禍における避難のポイントは後半部分にまとめましたので、ぜひ事前の備えとしてご確認ください。



コロナ禍における避難所開設・運営訓練(8/19けやき小にて)

3 中橋の架け替え

本市は、市街地の中央部に一級河川「渡良瀬川」が流れています。この渡良瀬川は、市民の憩いの場でもあり、やすらぎを提供してくれる重要な河川ですが、近年の豪雨による河川氾濫の危険性も持ち合わせている河川です。特に「中橋」は、堤防が割れこんでい

で低くなっており、水害の危険性が極めて高い重要水防箇所に指定されています。

昨年の台風時は、中橋の左右岸から氾濫する危険があったことから、大型土のう積みを行いました。

中橋の架け替えについては、国県との協議を行っており、近い将来に架け替えるというところまで話が進んできました。



中橋の水防訓練時の大型土のう積み

4 おわりに

市は、令和3年1月に市制施行100周年を迎えます。多くの先人たちが築いた歴史・文化・伝統を礎に、次の100年を展望し、人々が元気で輝き続けるためには、市民一人ひとりが安全安心な生活を維持していくことが大切です。

自分の命は自分で守る「自助」、地域で協力して助け合う「共助」、行政による防災への取組「公助」の3つがそれぞれ連携し、市民と行政が一体となって新しい時代の災害に備え、取り組んでいきましょう。

《コロナ禍における避難のポイント》

風水害や地震に備え、予め自分の避難行動を確認しましょう。

コロナ禍の避難所は、密閉した空間に多人数が密集する「三密」の条件がそろいやすく、感染症のリスクが高まる恐れがあります。

1 避難先を検討

- ・避難とは、「難」を「避」けること。自分が安全な場所にいるかどうかを考えましょう。
- ・指定避難所に行くことだけが避難ではありません。

2 風水害時の取るべき行動

- ・在宅避難(自宅の2階以上の場所など)でも安全か、ハザードマップや過去の水害等を踏まえ検討しておきましょう。
- ・自宅が危険な場合の避難先として、安全な親戚や

知人宅、ホテル等への避難も考えておきましょう。

＜風水害時の警戒レベルと取るべき行動＞

<p>警戒レベル2 避難行動を確認</p> <p>大雨・洪水注意報が発令されたとき</p>
<p>警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始</p> <p>避難に時間を要する方は避難開始</p> <p>大雨・洪水警報が発表され、市から避難準備・高齢者等避難開始が発令されたとき</p>
<p>警戒レベル4 避難勧告又は避難指示(緊急)</p> <p>全員速やかに避難 ※危険な場所にいる方</p> <p>氾濫危険情報や土砂災害警戒情報が発表され、市から避難勧告又は避難指示(緊急)が発令されたとき</p>
<p>警戒レベル5 災害発生情報</p> <p>命を守る最善の行動</p> <p>すでに災害が発生しているとき、氾濫発生情報や大雨特別警報が発表されたとき</p>

3 大地震時の取るべき行動

家庭では

- ・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難をしてください。
- ・あわてて外に飛び出さないでください。
- ・可能な範囲で火を消してください。(まずは、身の安全を優先する。)

自動車運転中は

- ・ハザードランプを点灯し、ゆっくり減速し、まわりの車に注意を促してください。
- ・大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。

避難所へ行く場合は

- ・余震が発生する場合がありますので、頭部を保護し、なるべく安全な場所を通りながら避難してください。

4 避難所での感染予防

- ・コロナ禍でも災害時に危険と判断したら明るいうちに迷わず避難しましょう。
- ・避難するときの感染予防として、マスク、消毒液、体温計はできるだけ持参しましょう。

豪雨襲撃 4人死亡

台風19号で県内

決壊、河川氾濫相次ぐ

一時1万9000人超が避難

台風19号による記録的豪雨に伴い、県内は12日夜から13日にかけて佐野市の秋山川など各地の河川で堤防の決壊や氾濫が相次いだ。豪雨などに関係するとみられる事故で足利と栃木、鹿沼市で4人の死亡が確認された。けが人は栃木や佐野など5市に計17人。県内の避難者は同日朝の時点で約1万9千人に達し、午後2時の段階でも約2千人に上った。県内14市町に発表された大雨特別警報は同日未明に解除された。県の派遣要請を受けた自衛隊は、大規模に浸水した地域などで救出活動に当たった。



下野新聞 2019/10/14号掲載

県内12日

9地点観測最大降雨量

塩谷413ミリ、宇都宮325ミリ

台風19号の影響で県内は記録的な豪雨となり、12日の日降水量は県内全14観測地点のうち、塩谷413・5ミリなど9地点で観測史上最大となった。市内の河川の堤防が決壊したり、氾濫したりした佐野や鹿沼などでは、2015年9月の関東・東北豪雨時の日降水量を上回る雨を観測した。

佐野など 関東・東北豪雨上回る

宇都宮地方気象台によると、本県に台風が接近した12日の日降水量が観測史上最大を観測したのは他に宇都宮325・5ミリや大田原298・5ミリ、真岡209・5ミリなど、十部部3695

みや奥日光481ミリなど5地点が観測史上2位や3位を記録した。

関東・東北豪雨の際に、日降水量が観測史上1位となっていた佐野は、今回のでも、関東・東北豪雨時を

上回った。

一方、台風の影響による雨が県内で降り始めた11日午前0時から13日午前11時までの総雨量は奥日光512・5ミリ、土呂部424・5ミリ、塩谷423ミリなどとなり、10月の月平年値の2・5倍以上になった。また台風の接近に伴い、12日夕方から13日未明にかけて、県内でやや強い風や強い雨が吹いた。宇都宮では12日午後11時10分ごろに、最大風速16・7メートルを記録。奥日光では13日午前0時55分ごろ、10月の観測史上最大となる最大瞬間風速34・1メートルを観測した。県内は12日午後7時50分、宇都宮やさくら、鹿沼、佐野、塩谷、那須など14市町に大雨特別警報が発表され、13日午前2時20分に解除された。





「高所避難していれば」 車水没で母亡くした長女

判断の迷い悔やむ

下野新聞 2019/10/17 号掲載

避難

「避難所の富田小、富田中はまた開けられない」
12日午後8時ごろ、足利市寺岡町の山本祥嗣自治会長(69)の自宅に市職員から電話が入った。避難所を開設する市職員が、両校に到着していなかった。
日中からの雨は弱まる気配がない。道は一部で冠水が始まっていた。山本会長は、寺岡町自治会館を急ぎ避難所にする決めた。自治会の仲間と電話や訪問で隣近所に知らせる回り、

台風19号直撃 県内2度目の特別警報

「いざどくに」届かず

迫られた自己判断

が命を落とした。
同じ県道で同じ避難中に、軽乗用車が水没した別の女性(56)は振り返る。「まるで大河のようだった」
◇ 台風の直撃で、同市では12日午後10時現在、避難所21カ所に1806人が身を寄せた。県の13日正午現在のまとめによると12日深夜、13日未明、県内は22市町の避難所369カ所に1万9822人が避難した。
◇ 同市は今回、避難などの情報伝達で、自治会長を通じてマンパワードを柱にした。ホームページ(HP)などのインターネットは利用しない市民もおり、広報



足利市が毛野公民館に開設した避難所。同市では最大で市民約1800人が避難所に身を寄せた＝16日午後、足利市八門町

で見つかり、死亡が確認された。付近は当時、停電していたとみられる。近くの会社員長正産さん(52)は12日午後10時すぎ、自家用車で近くの高台へ逃げた。「早めに避難して良かった。既に永野川の支流の水があふれだしていた」
複数の住民によると、一帯は12日深夜、13日未明、川のようになっていたという。亡くなった女性が暮らした集合住宅の高層階に住む番屋業倉持盛(さん)(67)は自宅にとどまった。早朝、水が引くのを見届け安堵したが、「管理組合や管理がいないわけでもない。自己判断だった」
いつ避難すべきか、どこに逃げるべきか。広域に被害をもたらした台風19号は、自らの判断が自ら家族の安全を左右する事実を突き付けた。

下野新聞 2019/10/19 号掲載

足利の女性死亡

浸水想定区域外で車水没

市、ハザードマップ反映へ

足利市寺岡町で12日夜、台風19号の影響で避難中だった乗用車が浸水し、乗っていた同所、無職女性(86)が死亡した現場が、市洪水・土砂災害ハザードマップの浸水想定区域に指定されていないことが18日、市への取材で分かった。
市は2013年に市全域のハザードマップを公表。市によると、このマップは渡良瀬川の本流など国直轄の河川による浸水区域を想定しており、今回の現場近くで氾濫した旗川の流域は対象外だったという。国や都道府県は15年の関



フラワーパーク ココ・ファーム

台風、人気施設にも打撃

足利

【足利】台風19号は市内の観光地にも爪痕を残した。あしがフラワーパークは園内全域が冠水し、見頃の花が水没、ココ・ファーム・ワイナリーは大雨でブドウ畑の一部が崩れた。来週以降、多くの観光客が訪れる恒例イベントを控える両施設。スタッフ総出で復旧を急いでいる。

(田井伎)

冠水や地崩れ、復旧急ぐ

「花がだめになってしま

ったのは残念。だけれどやるしかない」。迫間町のあしがフラワーパークの従業員＝あしががフラワーパーク
水没した花を片付ける従業員＝あしががフラワーパーク
「花がだめになってしまわれた。季節の花で彩られた約9万4千平方メートルの園内は、大雨や南方の尾名川からあふれた水で冠水。低地の水位は1・8メートルまで上昇したと



水没した花を片付ける従業員＝あしががフラワーパーク



大雨で崩れたブドウ畑＝ココ・ファーム・ワイナリー

同園は現在休園中。再開

は早くとも10日以降になる見込みで、植物の洗浄や植え替えなど復旧作業が続く。多くの観光客が訪れるイルミネーションは予定通り、26日の開始を見据える。同園を運営する足利フラワーリゾートの早川公一(一郎)社長(38)は「これまで通り楽しめる状態にしなければならず」と話した。

山の斜面に約3分の自家畑が広がる田島町のココ・ファーム・ワイナリー。12日の大雨で畑の中央部が崩れ、山肌があらわになった。北側の山林なども崩れ落ち、広報担当者は「開墾以来初めてのこと、何から手を付ければいいのか」と嘆く。

台風の前日までに大まかな収穫は済んでいたが、自家の斜面に約3分の自家畑が広がる田島町のココ・ファーム・ワイナリー。12日の大雨で畑の中央部が崩れ、山肌があらわになった。北側の山林なども崩れ落ち、広報担当者は「開墾以来初めてのこと、何から手を付ければいいのか」と嘆く。

社の名物ワインに使う2品種のブドウが土砂にのまれた。醸造所の床にも土砂が流れ込んだが、生産への影響は無かったという。醸造の繁忙期を迎え、11月中旬には恒例の収穫祭が控える。広報担当者は「畑が失われたのは悲しいが、今は目の前のワイン造りに集中するしかない」として

台風被害 現場歩き実感 菅原経産相が工場視察

足利



視察後の取材に応じる菅原経産相(中央) 18日午後、足利市川崎町

台風の被害状況などを把握するため菅原一秀(経産相)は18日、足利市の毛野東部工業団地内の企業を視察した。視察後、「足利に来て被害の大きさを、現場の声を目の当たりにできた」と話し、激甚災害指定などの要望を関係関係会議などで伝えていく考えを示した。

菅原経産相は同団地内の金属加工、オクラ金属(足利市川崎町)を視察し、同社内で和泉聡市長、早川慶治(足利商工会議所会頭)らと意見交換を行った。市によると、同団地は金属加工業など11社が立地しているが、工場内に浸水するなど全社が被災したという。意見交換後、和泉市長は「激甚災害の指定、操業支援などを要望し、くんでもらえたいと思う」と話した。

(島野剛)

一面緑のハウス、浸水で一変

丹精したトマト廃棄

台風19号より県内ではさまざまな農作物に被害が出た。イチゴに次いで被害が大きいのがトマトだ。中でも足利市は3億3千万円で、全体のうち割を占める。浸水の被害が深刻な農家では機械類の故障のほか、手塩に掛けてきたトマトがしおれ、引き抜いて廃棄する事態になっている。収穫は遅れるが、新しい苗の植え替えも始まりつつある。農家は肩を落として、「前を向いて頑張ろう」と気を振り絞る。

(山崎貴徳)

足利の被害深刻



気力絞り植え替えへ

台風19号による浸水で、トマトを引抜いたハウス。吉田さんは近く、新しい苗を植えるという。25日午後、足利市瑞穂町野。

一面緑色だったはずの鉄骨ハウスは、がらんとしていた。25日午後、足利市瑞穂町野、農業吉田亮さん(30)は「今年はハッキリだつたんだけどな」とうなづいて嘆息を吐いた。「ハウスを見ていると泣けてきますね」とこぼした。

台風が本県に最接近した12日から、トマトを栽培する別のハウスの土壌も浸水し、定植を終えていたところ、苗が水をかぶった。被害が深刻なのは、作付けする70坪の半分を占める連棟ハウス。大雨と川の増水で、1日30センチに育ち小さな実を付けていたトマト全体が水浸りだった。自分の身も危なく、何もできなかった。吉田さんは悔しがらる。

12月中旬ごろに出荷できる見通しだったが、葉が縮みしおれた。栽培を諦め、6千のトマトを一本ずつ引き抜き、畑に捨てた。丁寧に作業してきたのに、悲しいです。

暖房機や高所作業車、水や肥料を自動で与える機械、データを記録していた

生活、作業の場 浸水

足利・佐野 旗川沿い

障害者施設にも爪痕

パソコンなども水に漬かった。トマトと合わせた被害総額は数百万円とみられる。一方、救いもあり、業者から余っていた苗を本を確保できた。週明けからハウスに植え替える予定だ。別のハウスでは、水に漬かったトマトが病気になるよ。消毒しながら見守る。吉田さんは祖母の後ろを、いって約7年前に就農した。「トマトはみんなを笑顔に」上部に所属する農家48戸のリーダーでもある。

「食べる」と話す。出荷 うち、約7割のハウスで浸水被害があった。このうち13戸がトマトの苗の全部まらぬ。足利のトマトを盛り上げた」と話した。う。ただ、苗の納品が12月になり出荷が春先まで遅れるケースもある。

台風19号の影響で足利、佐野の両市を流れる旗川があふれ、川沿いにある障害者支援施設も大きな被害を受けた。足利市瑞穂町の愛光園稲岡事業所ではクリーニング工場などが再開したものの、23日も職員らが清掃などに追われた。全ての復旧には半年以上かかる見通しという。佐野市小中町の「ちのみ学園」では、床上浸水した1階の入所者が施設内のホールで寝泊まりする生活が続いており、作業所も再開できていない状況だ。(文・写真 藤井達哉)

ホールで寝泊まりも

台風19号

■愛光園稲岡事業所
「トラックで(災害ごみの仮置き場に)10往復はしたが、まだまだ」
愛光園稲岡事業所の川俣監所長(33)はため息をついた。同事業所は、約50坪床上浸水し、電動ベッドとパソコンが各20台、車や床、非常用電源装置などが被害を受けた。
台風が本県に接近した12



日午後8時半。水位は床上に迫り、エレベーターは故障した。重度の身体障害の入所者ら18人を、職員が抱え上げて1階から階下移動した。幸い人的被害はなかった。

ベッドなど最低限の備品を急ピッチでそろえ、19日には別の施設に避難していた入居者を戻すことができた。大型洗濯機などが並ぶ

敷地内のクリーニングの作業所は一部を補修し、21日「寝泊まりの形は、避難所と同じです」
主に知的障害者を支援する「ちのみ学園」の横塚直子副施設長(65)が苦しい心境を語る。食堂や風呂は使えなくなったが、1階などには全て張り替えるを得ない。「復旧は来年度くらいまでかかるかもしれない。こつこつやしていくしかない」と、横塚副施設長は見据えている。

から本格的な再開にき着けたが、川俣所長は「施設全体の修繕、復旧にはまだまだかかる」と現状を説明した。

■ちのみ学園
「寝泊まりの形は、避難所と同じです」
主に知的障害者を支援する「ちのみ学園」の横塚直子副施設長(65)が苦しい心境を語る。食堂や風呂は使えなくなったが、1階などには全て張り替えるを得ない。「復旧は来年度くらいまでかかるかもしれない。こつこつやしていくしかない」と、横塚副施設長は見据えている。

復旧へ「ONE TEAM」

自治会ボランティア結成

足利・稲岡町

住宅や農地、互いに支援

【足利】台風19号で地元の旗川があふれた稲岡町は、全域で水田やビニールハウスに土砂や道路のアスファルトが流れ込むなどの被害を受けた。住宅の浸水被害も相次ぎ、同町自治会（175世帯）は自前のボランティア組織を立ち上げ、共助の精神で復旧を進めている。（島野剛）



アスファルトがはがされた稲岡町の農道。土砂などが農地に流れ込んだ

住民によると、市と佐野市境を流れる旗川が12日深夜、あふれ出したという。水が引くと、農道のあちこちで舗装がはがれ、アスファルトや土砂、倒木などが

水田に流れ込んでいた。刈り取り前の稲も全部なぎ倒された。農業嶋田重雄さん（79）は農地を見ながら「旗川があふれたのは72年前のカスリーン台風以来。言葉が出ない」と落胆した。同町は新規就農者も多い。両親の背中を追って就農して2年目の嶋田有希さん（26）はイチゴのビニールハウス6棟などが被災した。ハウスは倒れ、定植したばかりの苗が土砂に埋もれた。「全滅。苗がかわいそうで」と声を詰まらせながら「これからスタートするしかない」と前を向き、家族や仲間とハウスの片付

けを進めている。トルコギキョウの栽培を始めて2年目の男性（46）は約10万本を育てていたハウス内を土砂に覆われた。「力が抜けてしまう」と嘆きながらも、仲間と土砂をかき出す方策を思案していた。同町自治会は台風が去った14日、役員らが集まりボランティア組織を立ち上げた。自治会員や知り合いの業者などで協力し、被災した住宅や農地の片付けを支援するという。岩澤初彦会長（75）は「応援し合っていきたい。田んぼ、畑が元通りにできるようにしたい」と話した。



令和3(2021)年1月
足利市 総務部 危機管理課
情報管理課

TEL:0284-20-2247

FAX:0284-20-2273

E-mail:kikikanri@city.ashikaga.lg.jp